Macintosh
漢字Talk 7.5

アップグレードガイド

Macintosh
漢字 Talk 7.5

アップグレードガイド

目次

第4章　PowerTalkのインストール　19

第5章　ヘルプの活用　31

第6章　漢字Talk 7.5の新機能　43

1 漢字Talk 7.5のインストールの前に

手順1：インストールする内容を決める

漢字Talk 7.5用アップグレードパッケージは、主に次の3種類のもので構成されています。

- Macintoshシステムソフトウェアを漢字Talk 7.5にアップグレードするためのソフトウェア
- 強力なプリント機能、タイポグラフィ機能、カラー出版機能を持つQuickDraw GX
- 電子メール機能のほか、協調作業を支援する機能を持つPowerTalkソフトウェア

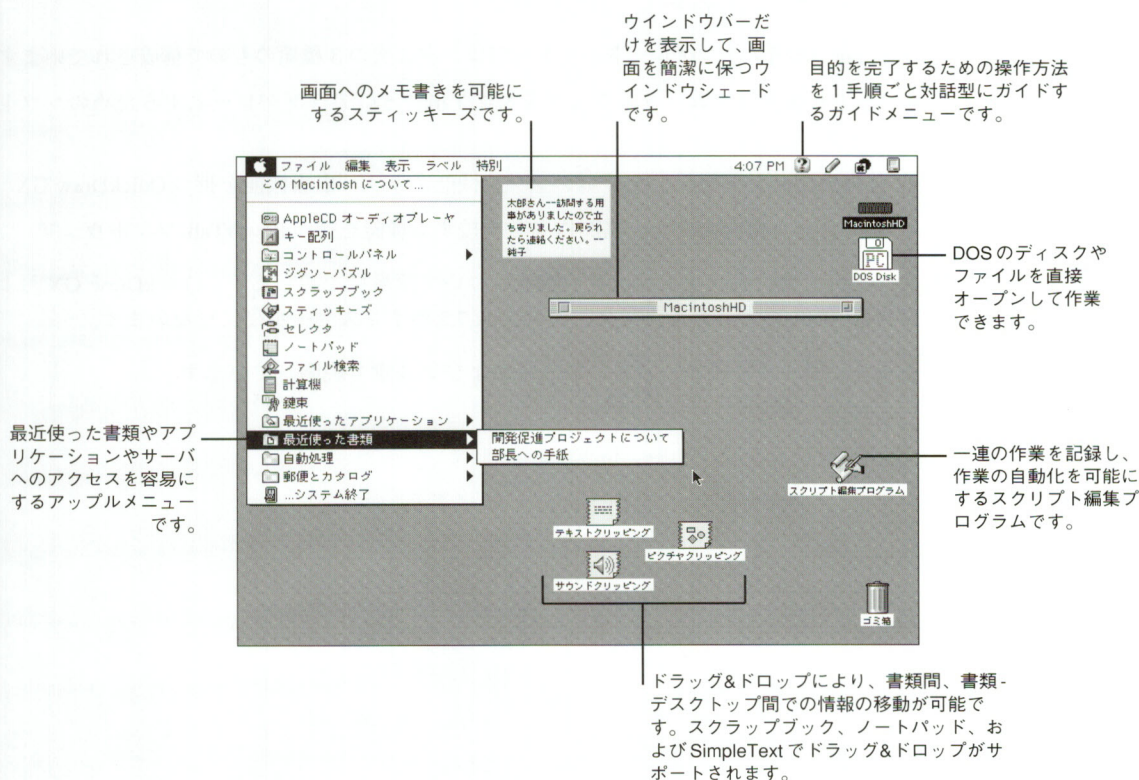
次ページでは、各ソフトウェアの機能について簡単に説明します。QuickDraw GXおよびPowerTalkのインストールは、漢字Talk 7.5のインストール後に行ないます。

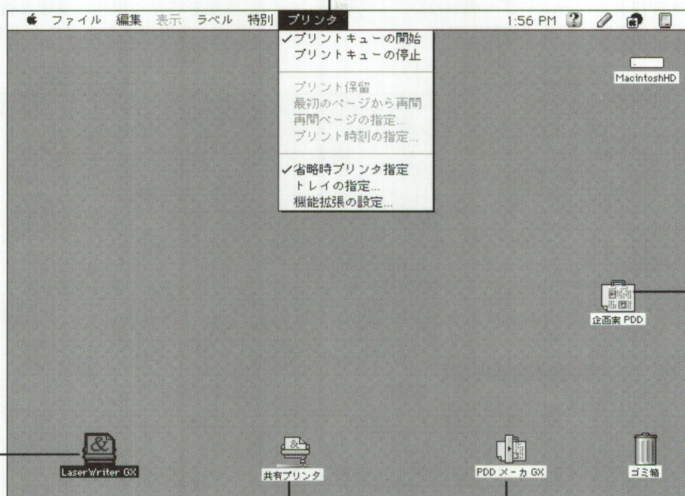
新機能に関する詳細は、本書の第5章および第6章で説明しています。

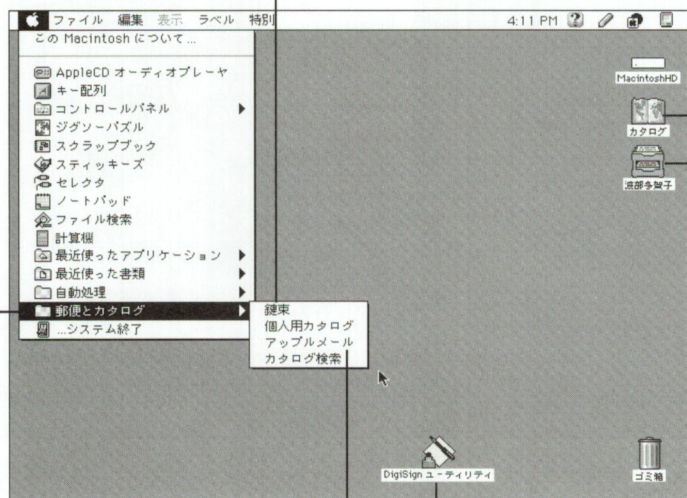
漢字 Talk 7.5

QuickDraw GX および PowerTalk をインストールするには、システムソフトウェアを漢字 Talk 7.5 にアップデートする必要があります。

漢字 Talk 7.5 は、生産性を向上させ、他のコンピュータ利用者との共同作業を容易にするための新機能が含まれています。主な新機能には、DOS/Windows のファイルおよびディスクとの互換性の向上、ドラッグ&ドロップによる情報の移動、操作方法を習得したり操作目的を完了するために、1手順ごとに操作を指示するガイダンス、操作の自動化などがあります。

Finder についても、アップルメニューのサブメニュー化、メニューバークロック、デスクトップパターンのカラーパターン拡張、ファイル検索機能の強化、最近使った書類の履歴管理、および画面へのメモ表示（スティッキーズ）などの機能拡張が行われています。

QuickDraw GX ソフトウェア

QuickDraw GX は、容易で強力なプリント機能、フォント関連機能を提供することによって、カラー出版への対応力を強化します。QuickDraw GX によって作成された書類は、他の QuickDraw GX 利用者が内容を表示したりプリントしたりすることが可能です。また、PDD（Portable Digital Document：携帯用ディジタル書類）であれば書類作成に使用したアプリケーションやフォントを必要としません。

PowerTalk ソフトウェア

PowerTalk は電子メールおよび協調作業のためのソフトウェアです。PowerTalk の利用者間では電子メールの交換が可能で、この電子メールは、サーバを使用しない場合、PowerShare サーバを経由する場合のいずれのケースでも送受信が可能です。さまざまな電子メールサービスからのメールを、1つの郵便箱で受信することができます。また、メールゲートウェイを使用すると、PowerTalk による各種オンラインサービスの利用が可能になります。

手順2：メモリ容量の確認

漢字Talk 7.5を快適に使用するには、最低8 MB（メガバイト）のメモリが必要です。QuickDraw GXとPowerTalkのインストールには、12 MB以上のメモリが必要になります（Power Macintoshでの使用については、下の表をご覧ください）。

メモリ容量の確認は、次の手順で行ないます。

1. アップル（）メニューから、“このMacintoshについて ...”を選びます。
2. “メモリ合計”の欄に表示されている数字を確認します。
3. メモリ容量とインストール可能なソフトウェアについては、次の関係があります。

メモリ容量（MB：メガバイト）	インストール可能なソフトウェア
12MB以上（Power Macintoshの場合16MB以上）	漢字Talk 7.5、QuickDraw GXおよびPowerTalk
8MB以上（Power Macintoshの場合12MB以上）	漢字Talk 7.5のみ（QuickDraw GXおよびPowerTalkのインストールには、メモリの増設が必要）

手順3：インストールの準備

システムソフトウェアのアップグレードを円滑に行なうためには、ハードディスクのチェックと、ドライバのアップデートを行なうことが重要です。

1. フロッピーディスクドライブに「ディスクツール」ディスクを挿入します。

   画面にディスクツールのアイコンが表示されます。

   CDからインストールする場合：CDをドライブにセットします。

   ネットワークからインストールする場合：ファイルサーバからディスクツールを探し、手順3に進みます。ディスクツールが見つからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. ディスクツールのアイコンをダブルクリックして、ディスクツールを開きます。

3 Disk First Aid のアイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがって操作を続けます。

ハードディスクドライブに異常がないかどうかチェックされます。

4 操作が終了したら、ファイルメニューから“終了”を選びます。

IDE 仕様の内蔵ハードディスクにインストールする場合は、手順 9 へお進みください。

5 Apple HD SC Setup のアイコンをダブルクリックして開きます。

ディスクドライバの更新を行ないます。

6 “更新”をクリックします。

7 処理が終了したら、“終了”をクリックします。

8 Macintosh を再起動します。

9 本書の第 2 章（「漢字 Talk 7.5 のインストール」）の手順にしたがって、インストールを行ないます。

2 漢字Talk 7.5のインストール

漢字Talk 7.5のインストールは、本章で説明する手順にしたがって行ないます。

インストーラを使用する

漢字Talk 7.5のインストールは、次の手順で行ないます。

重要　付属のCDからシステムをインストールする場合、アップル社製のCD-ROMドライブが必要です。

PowerBookにインストールする場合、PowerBookが電源アダプタに接続されており、自動スリープ機能が切れていることを確認してください。操作方法についてはPowerBookに付属のマニュアルをご覧ください。

1. **コンピュータの電源を切ります。**
2. **フロッピーディスクドライブに「インストール1」を挿入し、コンピュータを起動します。**

   フロッピーディスクからインストールする場合：手順4へ進んでください。

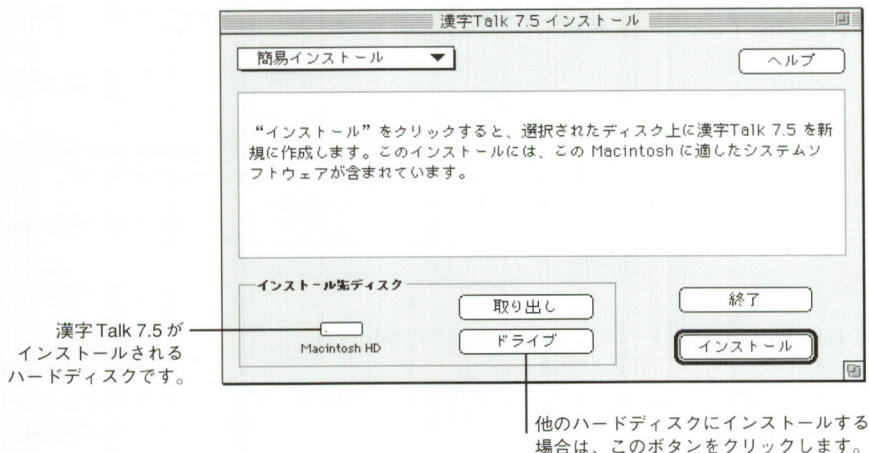
   CDからインストールする場合：「ディスクツール」をドライブにセットし、コンピュータを起動します。

   ネットワークからインストールする場合：ファイルサーバからインストーラを探します。見つからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

   漢字Talk 7.5の全ファイルは圧縮されており、インストーラプログラムがファイルを復元します。ファイルをドラッグしてハードディスクにコピーしないでください。

3　CD をドライブにセットし、“漢字 Talk 7.5 CD インストール” をダブルクリックします。

4　インストーラの初期画面が表示されたら、“続ける” をクリックします。

簡易インストールダイアログが表示されます。

システムの内容を指定してインストールする方法について：ここで説明している簡易インストールの手順は、大部分の利用者にとっては最適な方法です。簡易インストールを使用した場合、Macintosh の各モデルに必要なファイルだけがインストールされます。Macintosh 全モデルで動作するシステムを作成する場合や、インストール後に各種のドライバやユーティリティなどをインストールする場合は、付録A「カスタムインストールオプションの実行」をご覧ください。

5 **漢字 Talk 7.5 をインストールするハードディスクがインストール先ディスクとして表示されていることを確認します。**

インストール先ディスクに異なるディスクが表示されている場合は、正しいディスクが表示されるまで“ドライブ”ボタンをクリックします。

6 **“インストール”をクリックします。**

ハードディスク上のシステムフォルダの更新が開始されます。

インストール中にトラブルが発生した場合：第7章「トラブルシューティング」をご覧ください。

7 **画面の表示にしたがって操作を続けます。**

画面のメッセージがフロッピーディスクの交換を促します。

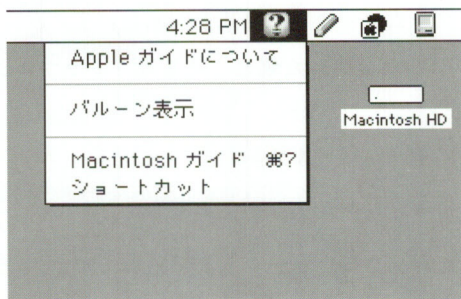
8 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

なんらかの原因でインストールが成功しなかった場合は、もう一度インストール作業を行なってください。

コンピュータが再起動できない場合：第7章「トラブルシューティング」をご覧ください。

画面に表示される新しいアイコンについて

漢字Talk 7.5がインストールされてコンピュータが再起動すると、画面に新しいアイコンが表示されます。

画面右上（メニューバー内）にガイドアイコンが表示されます。ガイドアイコンは、電球の中に？マークが記された形をしています。

ガイドメニューには、Macintoshの使用方法をオンラインで提供するメニュー項目があります。例えばMacintoshガイドでは、Macintoshによる作業について（印刷物のマニュアルの代りに）、1手順ごとに操作方法を表示します。

ガイドメニューについて、詳しくは第5章をご覧ください。

3 QuickDraw GXのインストール

漢字Talk 7.5のインストールが終了し、Macintoshに十分なメモリが装備されていれば、QucikDraw GXのインストールが開始できます（必要なメモリについては第1章をご覧ください）。QuickDraw GXの機能については、第6章「漢字Talk 7.5の新機能」をご覧ください。

手順1：QuickDraw GXのインストール

重要　QuickDraw GXをインストールすると、アップル製プリンタ用のGXプリンタドライバもインストールされます。ただし、一部のアップル製プリンタ用GXドライバや他社製プリンタのドライバは含まれません。アップル以外のプリンタを使用している場合は、そのプリンタのメーカから適切なプリンタドライバの提供を受ける必要があります。

重要　Power Macintoshアップグレードカードを装備したMacintoshにQuickDraw GXをインストールするときは、インストールの前に必ずアップグレードカードを機能させてください。アップグレードカードを機能させる方法については、アップグレードカードに付属のマニュアルをご覧ください。

1. 開いているアプリケーション、デスクアクセサリなどがあれば、すべて終了します。
2. フロッピーディスクドライブに、「インストール」ディスクを挿入します。

QuickDraw GXの全ファイルは圧縮されており、インストーラプログラムがファイルを復元します。ファイルをドラッグしてハードディスクにコピーしないでください。

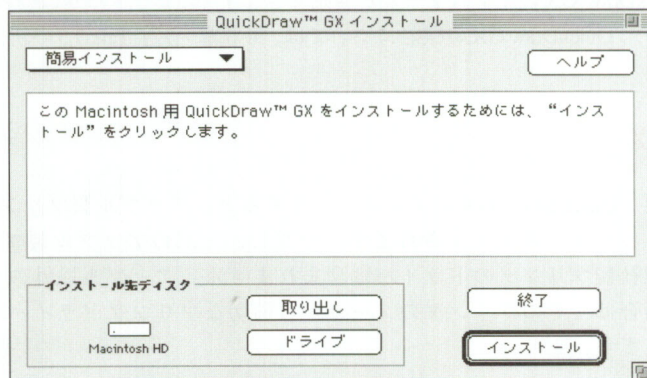
CDからインストールする場合：CDをドライブにセットし、“QuickDraw GX”フォルダを開きます。

ネットワークからインストールする場合：ファイルサーバからインストーラを探します。見つからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3 **インストーラアイコンをダブルクリックします。**

CDからインストールする場合：“QuickDrawインストール”をダブルクリックします。

4 **QuickDraw GXインストーラの初期画面が表示されたら、“続ける”をクリックします。**

簡易インストールのダイアログが表示されます。

システムの内容を指定してインストールする方法について：ここで説明している簡易インストールの手順は、大部分の利用者にとっては最適な方法です。簡易インストールを使用した場合、Macintoshの各モデルに必要なファイルだけがインストールされます。Macintosh全モデルで動作するシステムを作成する場合や、インストール後に各種のドライバやユーティリティなどをインストールする場合は、付録A「カスタムインストールオプションの実行」をご覧ください。

5 **QuickDraw GXをインストールするハードディスクがインストール先ディスクの欄に表示されていることを確認します。**

インストール先ディスクの欄に異なるディスクが表示されている場合は、正しいディスクが表示されるまで“ドライブ”ボタンをクリックします。

6 “インストール”ボタンをクリックします。

QuickDraw GX のインストールが開始されます。

インストール中にトラブルが発生した場合：第７章「トラブルシューティング」をご覧ください。

7 画面の表示にしたがって操作を続けます。

フロッピーディスクの交換を知らせるメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。インストールは数分で終了します。

8 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

なんらかの原因でインストールが成功しなかった場合は、もう一度インストール作業を行なってください。

コンピュータが再起動できない場合：第７章「トラブルシューティング」をご覧ください。

画面に表示される新しいアイコンについて

QuickDraw GX がインストールされてコンピュータが再起動すると、画面にプリンタアイコンが表示されます。プリンタアイコンは、QuickDraw GX によってデスクトップに自動的に表示されます。

LaserWriter GX

デスクトップにプリンタアイコンが表示されない場合、アイコンを作成する必要があります。プリンタアイコンを作成するときは、ガイドメニュー（画面右上の ? が表示されているメニュー）の“Macintosh ガイド”を選びます。Macintosh ガイドウインドウが表示されたら、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“プリント&フォント”の“どうすればいいの？”から“デスクトップ・プリンタを作成する”を選びます。プリンタアイコンをデスクトップに作成する方法が、実際の操作に沿って１手順ごとに表示されます。

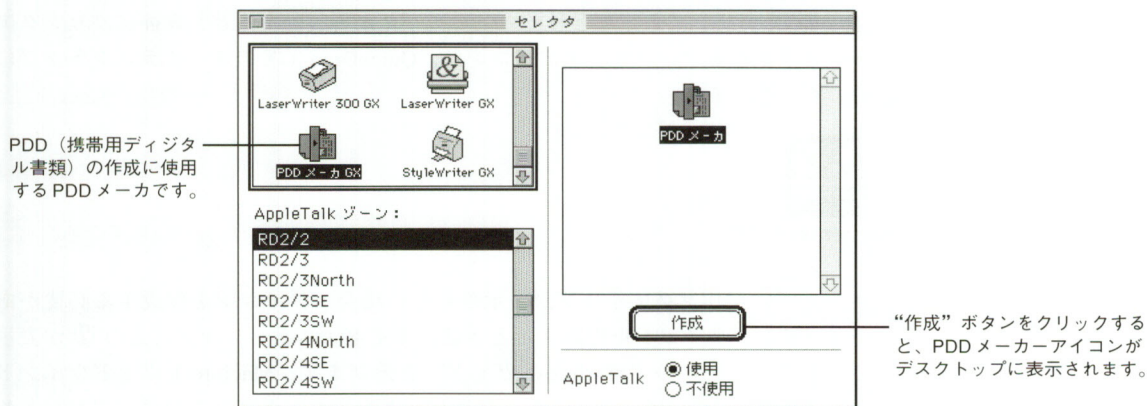
手順2：PDD メーカ デスクトップアイコンの作成

PDD メーカは、PDD（Portable Digital Documents：携帯用ディジタル書類）を作成する際に使用します。PDD は内容の変更はできない書類で、他の QuickDraw GX の利用者が、画面に表示させたり、プリントしたりすることができます。PDD の表示やプリントには、書類の作成に使用したアプリケーションやフォントを必要としません。

QuickDraw GX がインストールされていれば、次の手順で PDD メーカのデスクトップアイコンが作成できます。

1　アップル（）メニューから“セレクタ”を選びます。

2　PDD メーカ GX をクリックします。

PDD メーカ GX のアイコンが隠れて見えない場合、スクロールして表示させてください。

3　“作成”をクリックします。

デスクトップに PDD メーカのアイコンが表示されます。

4　セレクタを閉じます。

QuickDraw GX ヘルパーについて

QuickDraw GX をインストールすると、QuickDraw GX ヘルパーが自動的に機能拡張フォルダへインストールされます。QuickDraw GX ヘルパーはアプリケーションプログラムからの QuickDraw GX プリントを一時的に使用できないようにするためのものです。

QuickDraw GX プリントを使用しないようにするには、アプリケーションを起動し、次いでアップル（）メニューから“デスクトップ・プリントをオフにする”を選びます。デスクトップのプリンタアイコンは引き続き使用できますが、書類のプリントには、QuickDraw GX に対応しないプリンタドライバが使用されます。QuickDraw GX プリントを使用するときは、“デスクトップ・プリントをオンにする”を選びます。

QuickDraw GX ユーティリティの使用

QuickDraw GX ユーティリティを使用すると、プリンタおよびフォントを使用する際に、さまざまな拡張機能が使用できます。

ユーティリティのインストールについては、付録A「カスタムインストールオプションの使用」をご覧ください。

- **LaserWriter ユーティリティ**は、アップルの LaserWriter に付属されているユーティリティの最新版です。
- **用紙タイプエディタ**を使うと、アップルのプリンタで指定する用紙タイプを作成したり、編集したりすることができます。

4 PowerTalkのインストール

漢字Talk 7.5のインストールが終了し、Macintoshに十分なメモリが装備されていれば、PowerTalkのインストールが開始できます（必要なメモリについては第1章をご覧ください）。PowerTalkの機能については、第6章「漢字Talk 7.5の新機能」をご覧ください。

手順1：PowerTalkのインストール

1. 開いているアプリケーション、デスクアクセサリなどがあれば、すべて終了します。
2. フロッピーディスクドライブに「PowerTalk」ディスクを挿入します。

PowerTalkの一部のファイルは圧縮されており、インストーラプログラムがファイルを復元します。ファイルをドラッグしてハードディスクにコピーしないでください。

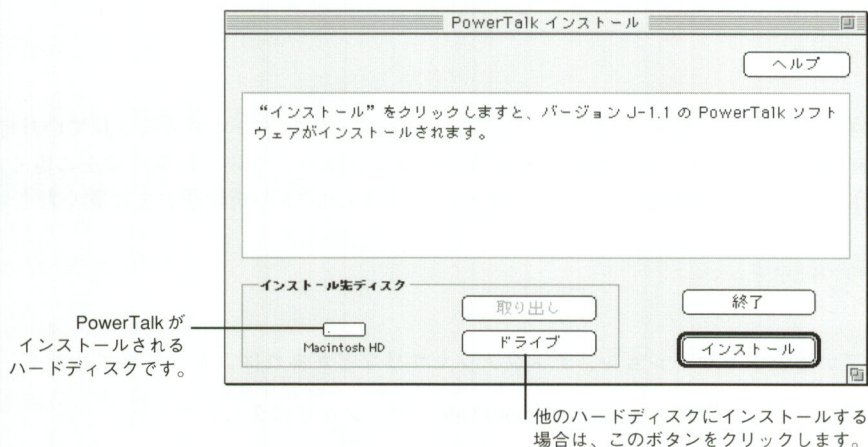
CDからインストールする場合： CDをドライブにセットし、"PowerTalk"フォルダを開きます。

ネットワークからインストールする場合： ファイルサーバからインストーラを探します。見つからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3　インストーラのアイコンをダブルクリックして、インストーラを開きます。

CD からインストールする場合：“PowerTalk インストール”をダブルクリックします。

4　インストーラの初期画面が表示されたら、“続ける”をクリックします。

インストーラ書類のダイアログが表示されます。

5　PowerTalk をインストールするハードディスクがインストール先ディスクとして表示されていることを確認します。

インストール先ディスクの欄に異なるディスクが表示されている場合は、正しいディスクが表示されるまで“ドライブ”ボタンをクリックします。

6　“インストール”ボタンをクリックします。

PowerTalk ソフトウェアのハードディスクへのコピーが開始されます。PowerTalk のソフトウェアには、システムフォルダにインストールされるシステムソフトウェアと、Apple エクストラフォルダ内の PowerTalk フォルダにインストールされるアプリケーションプログラムから構成されています。

インストール中にトラブルが発生した場合：第 7 章「トラブルシューティング」をご覧ください。

7 **画面の表示にしたがって操作を続けます。**

画面にフロッピーディスクの交換を知らせるメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。インストールは数分で終了します。

8 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

なんらかの原因でインストールが成功しなかった場合は、もう一度インストール作業を行なってください。

コンピュータが再起動できない場合：第7章「トラブルシューティング」をご覧ください。

画面に表示される新しいアイコンについて

PowerTalkがインストールされてコンピュータが再起動すると、新しい2つのアイコンが画面に表示されます。アイコンの機能について詳しくは第6章「漢字Talk 7.5の新機能」をご覧ください。

郵便箱には、送受信された全メールが保存されます。受け箱または送り箱の内容を見るときに、郵便箱を開きます（システムのセットアップが行われると、アイコン名“郵便箱”は利用者名に変わります）。

カタログアイコンを開くと、AppleTalk、PowerShareサーバ、その他ネットワーク上でアクセス可能なサービスのカタログが表示されます。

手順2：システムのセットアップ

PowerTalkは、不正使用防止のため、さまざまなレベルの保安機能を提供します。もっとも基本的な保安機能が鍵束の利用暗号名で、この利用暗号名により、単一のパスワードによってネットワーク上の全サーバおよび全ネットワークサービスが利用できます。システムのセットアップが終了し、利用暗号名が使用できるようになるまでは、カタログサービスと電子メールサービスは利用できません。

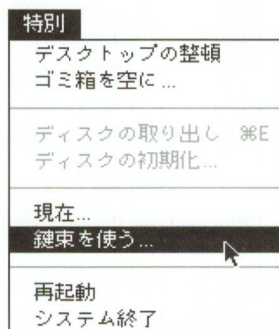
重要　システムのセットアップ内容は、ネットワーク上の情報をコントロールするサーバ（PowerShareサーバと呼ばれる）にアクセスするかどうかにより異なります。PowerShareサーバの利用口座が開設されているかどうか不明な際は、利用口座がないものとしてセットアップを行なってください。

PowerShareサーバの利用口座がない場合のセットアップ

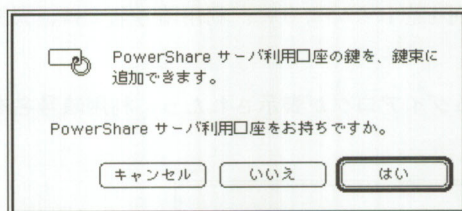
PowerTalkはネットワークサーバを必要としません。以下のようなサーバの利用口座がない場合のセットアップをした場合、情報の交換はアップルメールまたはアップルメールと互換性のあるアプリケーションによって行われます。

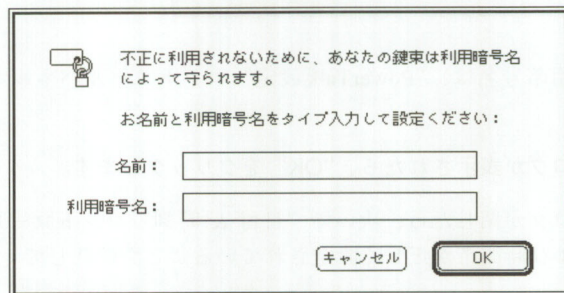
PowerShareサーバの利用口座がないときは、次の手順で操作します。

1. **特別メニューから“鍵束を使う...”を選びます。**

この操作のかわりに郵便箱を開いても同じです。

初期画面が表示されます。

2 表示内容を読みおわったら、“続ける” をクリックします。

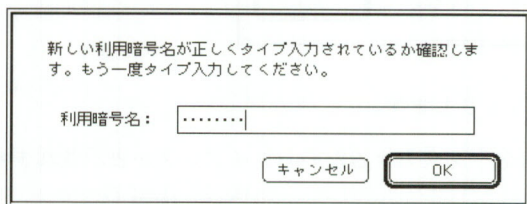
PowerShareの利用口座があるかどうかを確認するダイアログが表示されます。

3 “いいえ” をクリックします。

“鍵束の利用暗号名” を入力するためのダイアログが表示されます。

4 **利用者の名前、および利用暗号名を入力します。**

重要　利用暗号名が設定されると、コンピュータを起動するたびに利用暗号名の入力が必要になります。パスワードを使用したくないときは、利用暗号名を入力せずに空白のままにしておきます。

利用暗号名は次の点に注意して設定してください。

- 自分の名前そのものを設定しないこと。
- 6文字以上の長さであること（長くなるほど推測することが困難になります）。
- “4Me!Only”などのように、大文字、小文字、数字を混在させること。
- 覚えやすいこと。メモを取ることは好ましくありません。
- 大文字・小文字の別を忘れないように。利用暗号名では、大文字・小文字が区別されます。

5 **利用暗号名を確認するダイアログが表示されたら、利用暗号名を再度入力して“OK”をクリックします。**

指定した利用暗号名は、“PowerTalk 設定”コントロールパネルで何回でも変更が可能です。

6 **別のダイアログが表示されたら、“OK”をクリックします。**

このダイアログが閉じたら、次いで“日付 & 時刻”コントロールパネルを開いて、日付、時刻および時間帯が正しく設定されていることを確認してください。

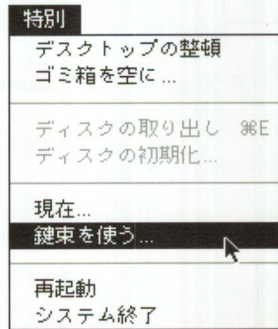
以上でPowerTalkの機能が使用可能になります。郵便箱アイコンには、所有者の名前が表示されます。

渡部多賀子

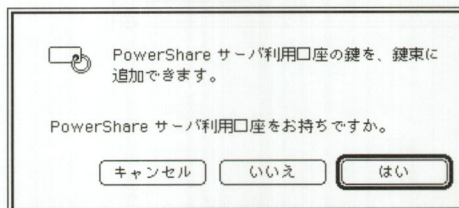
PowerShareサーバの利用口座がある場合のセットアップ

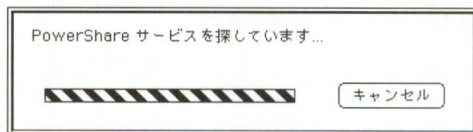
PowerShareサーバが利用できる場合は、次の手順で操作します。

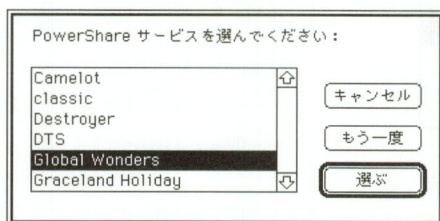
1 特別メニューから“鍵束を使う...”を選びます。

かわりに郵便箱を開いても同じです。

初期画面が表示されます。

2 表示内容を読みおわったら、“続ける”をクリックします。

PowerShareの利用口座があるかどうかを確認するダイアログが表示されます。

3 “はい” をクリックします。

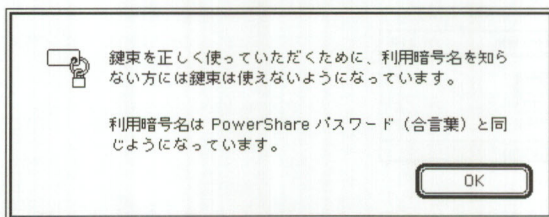
ネットワーク上で使用可能な PowerShare サーバが検索されます。

4 検索結果のダイアログが表示されたら、アクセスしたい PowerShare サーバを選んで “選ぶ” をクリックします。

PowerShare サーバの名前をダブルクリックすることでも選択できます。

利用口座の情報を入力するためのダイアログが表示されます。

5 サーバの管理者が登録しているPowerShare利用口座の利用者名とパスワードを入力します。

利用上の便宜を図るために、PowerTalkソフトウェアは、鍵束の利用暗号名の初期値をPowerShareパスワードと同一に設定します（鍵束の利用暗号名で、すべてのネットワークサービスが利用できます）。鍵束の利用暗号名は“PowerTalk設定”コントロールパネルで変更できます。

重要　鍵束の利用暗号名を変更しても、PowerShareパスワードは変わりません。他のコンピュータを使って自分宛のメールを見る際には、PowerShareパスワードの入力が必要になります。

6 次のようなダイアログが表示されたら、“OK”をクリックします。

別のダイアログが表示されて、追加情報を表示します。“OK”をクリックします。

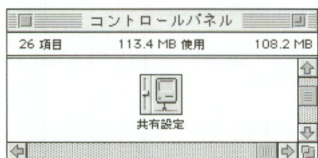
以上でPowerTalkの機能が使用可能になります。郵便箱アイコンには、所有者の名前が表示されます。

手順3：コンピュータにネットワーク上の名前を付ける

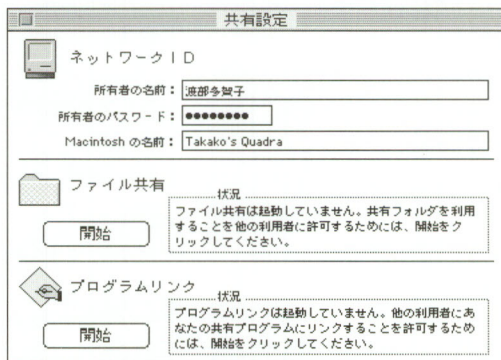
AppleTalk ネットワークに接続されている場合、AppleTalk カタログにはコンピュータ名が表示され、他のコンピュータ利用者は、PowerShare サーバを使用せず、このコンピュータ名を番地としてメールの送信ができます。“共有設定”コントロールパネルで指定したコンピュータ名があなたの名前の一部を含んでいる場合は、他の利用者はあなたの番地をより容易に見つけることができます。“田中一平の Mac”などのように、コンピュータ名には利用者名の一部を含めることが一般的です。

コンピュータ名を確認するときは、次の手順で操作します。

1 アップル（）メニューからコントロールパネルを選びます。

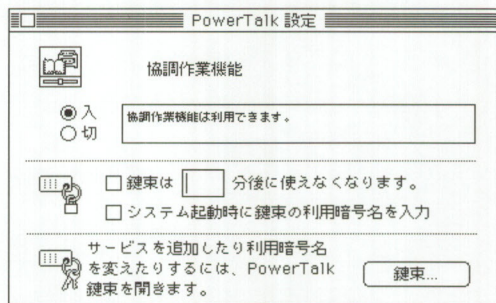
2 “共有設定”を開きます。

3 不足している情報があれば追加して入力します。設定されている内容を変更するときは、その欄を選んで入力し直します。

“Macintosh の名前”の欄に入力されている内容が正しいことを確かめてください。ここで指定した名前がネットワーク上の他のコンピュータとの区別に使用されます。

重要　同一のネットワークに接続された複数のコンピュータを同一の利用者が使用する場合も、それぞれ別の名前を付けるようにしてください。コンピュータは、互いにその名前が重複しないように指定する必要があります。

4 クローズボックスをクリックして、“共有設定”コントロールパネルを閉じます。

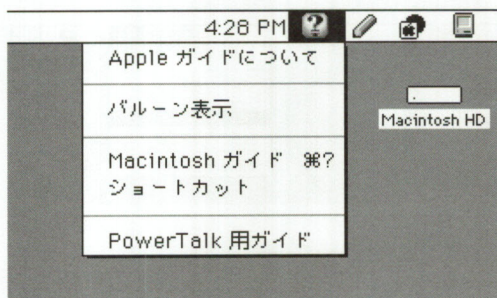
重要　AppleTalkのカタログやネットワーク機能を使用するときは、セレクタでAppleTalkを使用する設定になっていることを確かめてください。

PowerTalkを使わない設定にする

PowerTalkの協調作業機能を中止したいときは、“PowerTalk設定”コントロールパネルで、“切”ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します。

再起動後、協調作業機能は利用できなくなります（郵便箱とカタログのアイコンはデスクトップには表示されません）。PowerTalkの利用を中止する理由としては、PowerTalkのサービスや利用口座が不必要であり、特定のコンピュータを占有して使用したい場合などが考えられます。また、メモリ消費量を抑えたい場合にPowerTalkの使用を中止することもあります。PowerTalkの使用を中止しているときは、PowerTalkはメモリを全く使用しなくなります。

PowerTalkを再び使用する設定にするときは、“PowerTalk設定”コントロールパネルを開いて、“入”ボタンをクリックします。次いでコンピュータを再起動します。

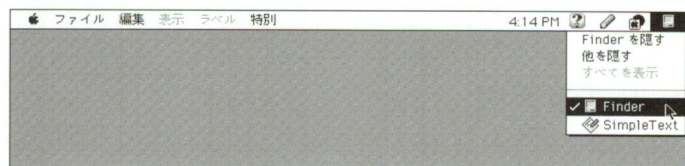
5 ヘルプの活用

Macintoshを使用する場合、ガイドメニューは重要な情報源となります。このメニューは画面の右上、クエスチョンマーク（?）で表示されています。

“Macintoshガイド”は初めての作業や複雑な操作を行なうときに便利な操作説明を対話形式で表示します。説明は一連の操作をわかりやすい手順に分けて表示されます。利用者は手順を見ながら実際の操作をすることができます。

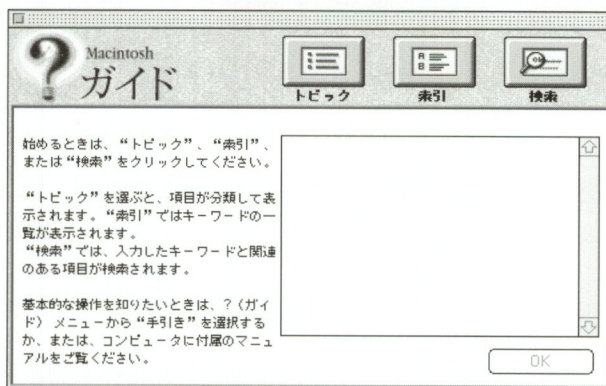
Macintoshガイドを使うときは、次ページからの手順で操作します。

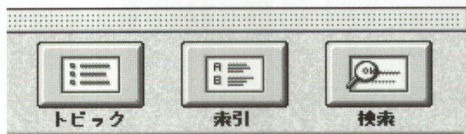
操作中に疑問が生じたら

Macintoshで作業中、操作方法に対する疑問が生じたら、ガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選ぶことで、回答を得ることができます。

1 画面右上のアプリケーションメニューから“Finder”を選んで、Finderが使えるようにします。

アプリケーションメニューに表示されるチェックマークが、Finderが使用可能であることを示します。

2 アイコンが表示されているガイドメニューから、“Macintosh ガイド”を選びます。

“Macintosh ガイド”ウインドウが表示されます。

Macintoshガイドのウインドウは常に他のウインドウより手前に表示されます。ウインドウが操作の邪魔になるときは、タイトルバーをドラッグしてウインドウを移動させてください。タイトルバーはウインドウ上部にグレイで表示されている帯状の部分です。

3 **ウインドウ上部には3つのボタン、トピック、索引、検索があります。**

Macintoshでは、必要な情報を探す3つの方法があります。

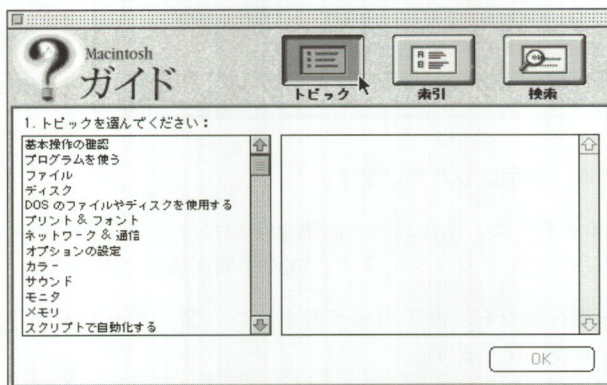
- **トピック**では、一覧表示される主題から表示させる内容を1つ選びます。書籍における目次のような機能を果たします。
- **索引**では、より詳細に分類された主題がアルファベット順および50音順に一覧表示され、表示させる内容をこの一覧から選びます。
- **検索**は、入力された単語や文章に関連のある情報を検索することができます。

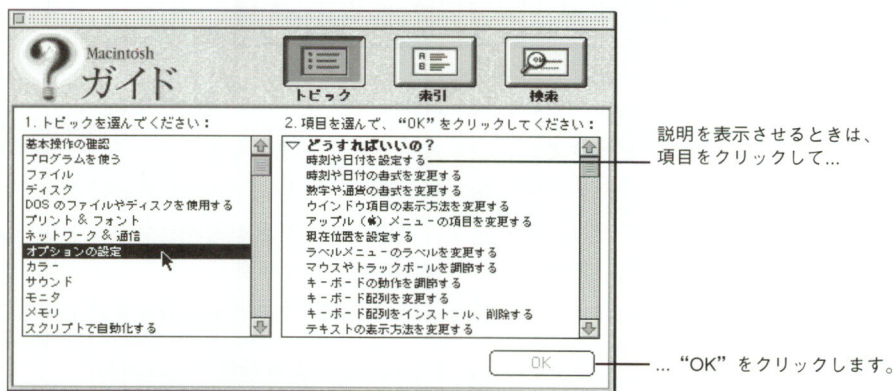
次のセクションでは、3つの方法による操作を実際に行ないます。

Macintoshガイドを使用中に疑問が生じたら、この章の後半の「Macintoshガイドの活用のために」を参照してください。

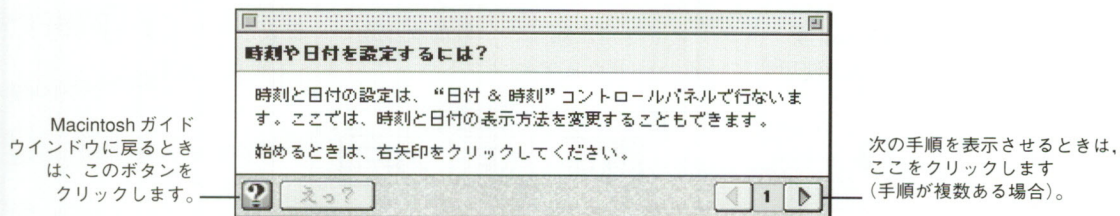
トピックボタンを使用する

1 **Macintoshガイドウインドウで、"トピック"ボタンをクリックします。**

Macintoshガイドウインドウの左側に、一般的な主題が一覧表示されます（表示される項目は、使用しているハードウェアやソフトウェアによって異なります）。

2 一覧表示されたトピック項目の中から“オプションの設定”を選んで、クリックします。

主題をクリックすると、その主題に関連する項目がMacintosh ガイドウインドウの右側に表示されます。

3 “どうすればいいの？”の“時刻や日付を設定する”をクリックして、“OK”をクリックします（または項目をダブルクリックします）。

操作説明の小さなウインドウが表示されます。このウインドウの説明にしたがって、実際の操作を行ないます。

Macintosh ガイドウインドウに戻るときは、このボタンをクリックします。

4 手順を読み、指示にしたがいます。

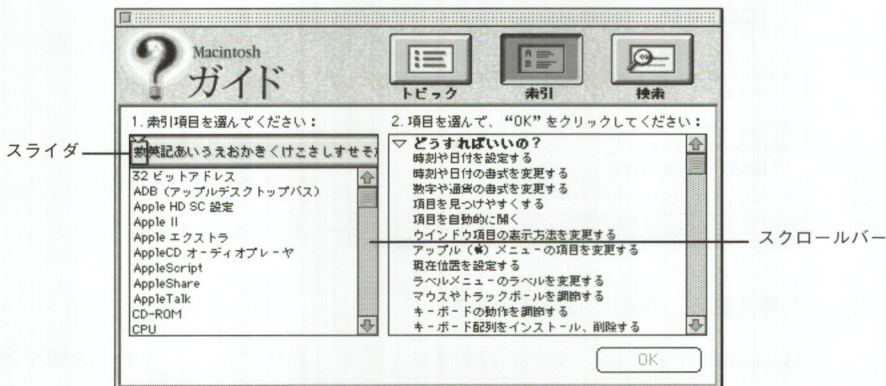
Macintosh ガイドは、操作説明を簡単な手順に分けて表示します。手順を実行したら画面右下の右矢印をクリックします。次の手順が表示されます。

5 全手順を実行したら、左下のガイドボタン（?）をクリックします。Macintosh ガイドウインドウに戻ります。

引き続き索引ボタンを使用する操作を説明します。

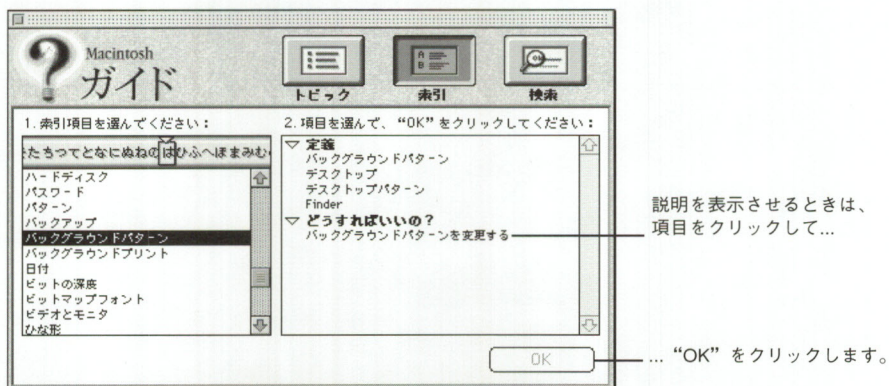
索引ボタンを使用する

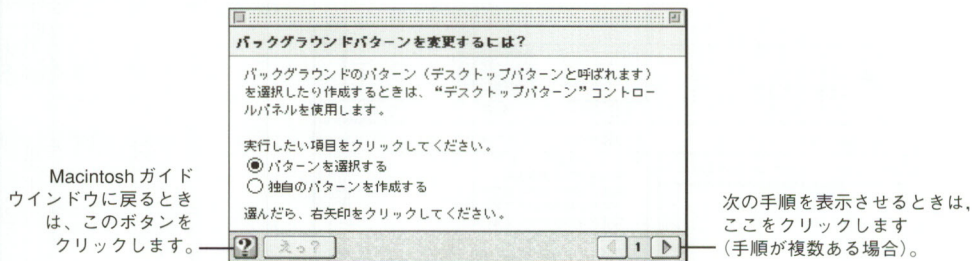
1 Macintoshガイドウインドウで、"索引" ボタンをクリックします。

Macintoshガイドウインドウの左側に、主題がアルファベット順および50音順に一覧表示されます。

2 "バックグラウンドパターン" が表示されるまで、一覧部をスクロールします。

一覧部のスクロールには、スライダを "は" の位置までドラッグする方法と、リスト右側のスクロールバーを使用する方法があります。

3 文字順一覧表示の "バックグラウンドパターン" をクリックします。

文字順一覧表示の主題をクリックすると、その主題に関連する項目がMacintoshガイドウインドウの右側に表示されます。

4　“どうすればいいの？”の“バックグラウンドパターンを変更する”をクリックして、“OK”をクリックします。（または、項目をダブルクリックします）。

操作説明の小さなウインドウが表示されます。このウインドウの表示にしたがって、実際の操作を行ないます。

5　手順を読み、指示にしたがいます。

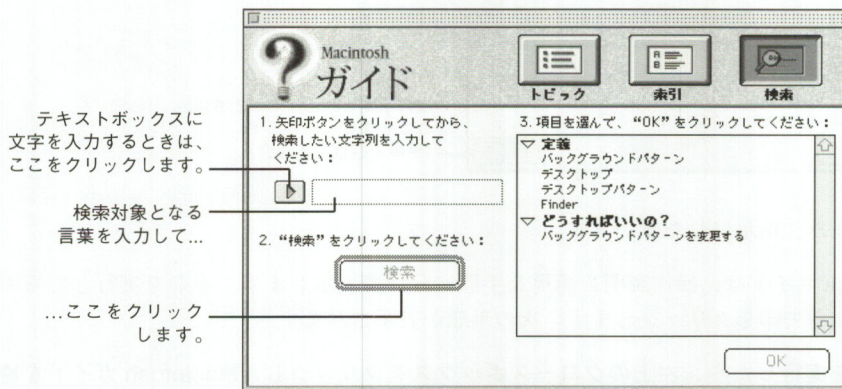
Macintosh ガイドは、操作説明を簡単な手順に分けて表示します。手順を実行したら画面右下の右矢印をクリックします。次の手順が表示されます。

6　全手順を実行したら、左下のガイドボタン（?）をクリックします。Macintosh ガイドウインドウに戻ります。

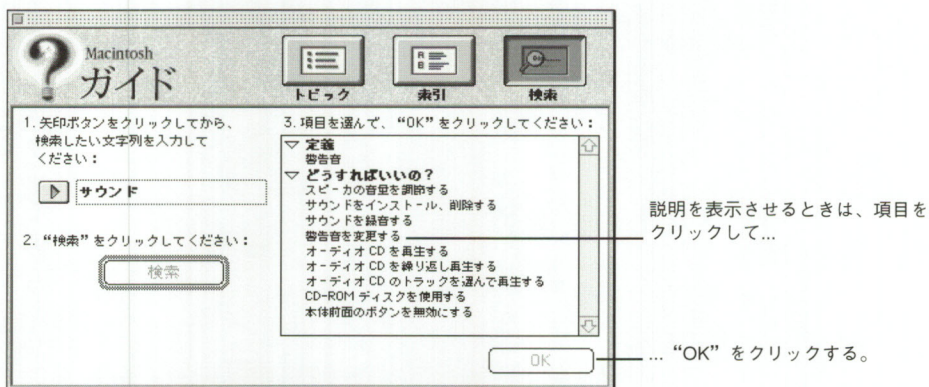
引き続き検索ボタンを使用する操作を説明します。

検索ボタンを使用する

1 Macintosh ガイドウインドウで、“検索” ボタンをクリックします。

ウインドウの左側に、文字の入力欄が表示されます。

2 矢印ボタンをクリックします。テキストボックスに文字が入力できるようになります。

3 テキストボックスに “サウンド” と入力して、“検索” をクリックします。

“検索” がクリックされると、入力した言葉に関連する項目が、Macintosh ガイドウインドウの右側に表示されます。

4 “どうすればいいの？”の“警告音を変更する”をクリックして、“OK”をクリックします（または項目をダブルクリックします）。

操作説明の小さなウインドウが表示されます。このウインドウに表示された手順にしたがって、実際の操作を行ないます。

5 手順を読み、指示にしたがいます。

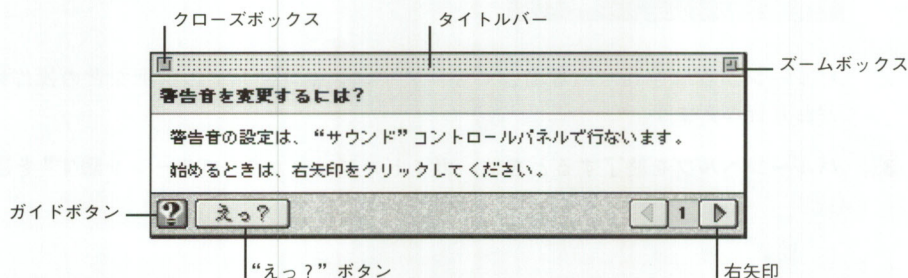
Macintoshガイドは、操作説明を簡単な手順に分けて表示します。手順を実行したら画面右下の右矢印をクリックします。次の手順が表示されます。

6 全手順を実行したら、左上のクローズボックスをクリックし、Macintoshガイドを終了します。

Macintoshガイドの活用のために

Macintoshガイドを有効に活用するために、次のようなコツがあります。

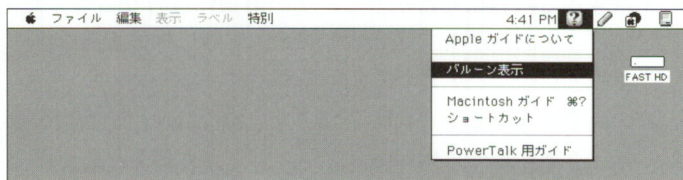
- Macintoshガイドは、Finderにいるときだけ使用できます。Finderにいるときは、画面にはディスクやフォルダ、ファイルのアイコンが表示されます（アプリケーションプログラムに固有のオンスクリーンガイドがあり、そのガイドがガイドメニューから利用できることがあります）。ガイドメニューに“Macintoshガイド”が表示されていない場合は、ガイドメニューの右側にあるアプリケーションメニューから“Finder”を選んでください。
- 表示される内容にしたがって、実際の操作を行なってください。手順を飛ばして、説明だけを読み進めてはいけません。実際に操作を行なうと、操作が正しいかどうかをコンピュータがチェックします。
- 説明内容が見えなくならないように、Macintoshガイドウインドウは、常に他のウインドウよりも上に表示されます。ガイドウインドウを移動させるときは、ウインドウ上部のタイトルバーをドラッグしてください。

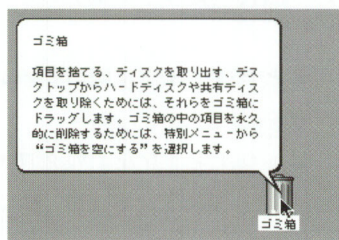
  ウインドウが操作の邪魔になるときは、ズームボックスをクリックすることもできます。ズームボックスをクリックすると、ウインドウサイズが小さくなります。再度クリックすると元の大きさに戻ります。
- さらに詳しい説明を表示させたいときは“えっ？”ボタンをクリックします（表示されている以上の追加情報がない場合、“えっ？”ボタンをクリックしても何も起こりません）。
- Macintoshガイドウインドウに戻るときは、操作説明のウインドウの左下にあるガイドボタン（?）をクリックします。
- Macintoshガイドを終了するときは、ウインドウ左上のクローズボックスをクリックします。

画面上の各部分を確認する

画面に見慣れないアイコンや項目が表示されたときは、バルーンヘルプを使用してその意味や機能を確認することができます。

バルーンヘルプは、アイコン、メニュー、コマンドなどの説明をマンガのふきだしのようにMacintoshの画面に表示します。

バルーンヘルプを使用するときは、次の手順で操作します。

1 ⍰アイコンが表示されているガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

2 機能や役割などを確認したいものにマウスのポインタを合わせます。

ポインタを合わせたものの近くにバルーンが表示されます。ゴミ箱にポインタを合わせた場合、下図のようにバルーンが表示されて、ゴミ箱に項目を捨てる方法が説明されます。

バルーンが表示されている場合でも、アイコンやコマンドの選択などの操作は、通常どおり行なえます。

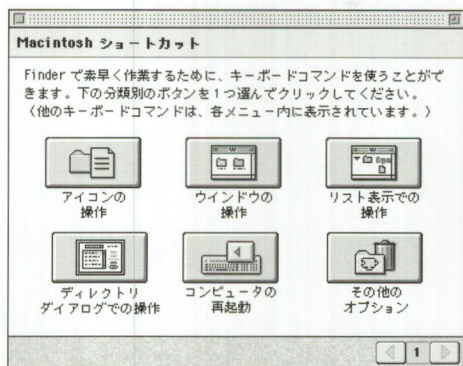
3 バルーンヘルプを終了するときは、ガイドメニューから“バルーンを隠す”を選びます。

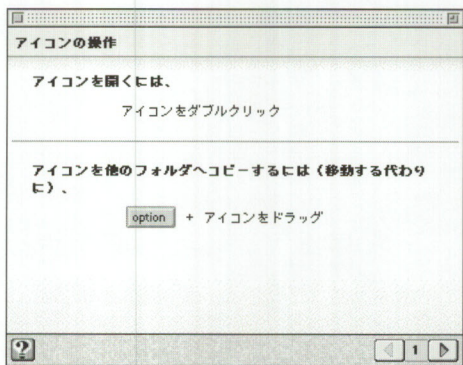
ショートカットを使う

マウスまたはキーボードのショートカットを使用すると、Finderの操作が素早く行なえます。例えばアイコンを選んでファイルメニューから“開く”を選ぶかわりに、アイコンをダブルクリックするだけで、アイコンを開くことができます。

キーボードやマウスのショートカットを学ぶときは、次のように操作します。

1 ? アイコンが表示されているガイドメニューから“ショートカット”を選びます。

“Macintosh ショートカット”のウインドウが表示されます。

2 ボタンを1つクリックします。

新しいウインドウが表示されて、ボタンで指定された操作のショートカットを表示します。

3 ショートカットを確認します。

ウインドウが複数ある場合は、ウインドウ右下の右矢印をクリックして、次のウインドウを表示します。

4 確認を終えたときは、ウインドウ左下のガイドボタン（?）をクリックします。Macintosh ショートカットの最初のウインドウに戻ります。

この操作のかわりにウインドウ左上のクローズボックスをクリックすると、Macintosh ショートカットが終了し、ウインドウが閉じます。

6 漢字Talk 7.5の新機能

第5章で説明したMacintoshガイドのほかにも、漢字Talk 7.5には生産性を向上させ、グループ内の作業を円滑にする50以上の新しい機能が含まれています。おもな新機能は次のとおりです。

- DOSおよびWindowsファイル・ディスクに対する互換機能。
- Finder機能の拡張（ファイル検索機能の強化、アップルメニューのサブメニュー化、メニューバーへの日付・時刻の表示、スティッキーズ機能、カラフルなデスクトップパターンの追加などが含まれます）。
- 各種作業の自動化。
- PowerBookにおけるバッテリ管理機能の強化。バッテリの寿命が伸び、携帯時の実用性が向上しました。
- 基本的な操作性の向上。
- 節電、音楽用CDのコントロール、TCP/IPプロトコルのサポートなどの各種新機能。
- QuickDraw GXによる先進的なプリントおよびグラフィックスアーキテクチャ。
- PowerTalkによる電子メール交換と協調作業サービスの機能。

この章では、このような漢字Talk 7.5の新機能について説明します。

漢字Talk 7.5に関連する新機能

DOSおよびWindowsファイルとの互換性

漢字Talk 7.5では、IBM PCフォーマット（720 K、1.4 MB）およびNECフォーマット（640 K）のフロッピーディスクを読み書きすることが可能です。このため、DOSまたはWindowsマシンとの間でディスクや書類の交換ができます。また、Macintoshフロッピーディスクの初期化と同様に、IBM PCおよびNECフォーマットのフロッピーディスクの初期化も可能です。

IBM PCやNECフォーマットで使用しているフロッピーをMacintoshにセットすると、“PC”と表示された次のようなディスクアイコンが表示されます。

DOSのディスクは、Macintoshのディスクと同じ要領で開くことが可能で、DOSのファイルもMacintoshのファイルと同じように開けます。ファイルを開く際、DOSのアプリケーションによって作成された書類をMacintoshのアプリケーションが開けるように、Macintoshは“トランスレータ”と呼ばれる変換プログラムを使用します。

各種形式のDOSファイルを開くために使用するMacintoshのプログラムを指定するためには、アップル（）メニューからコントロールパネルを選び、次いで“PC Exchange”コントロールパネルを開きます。

PC Exchange

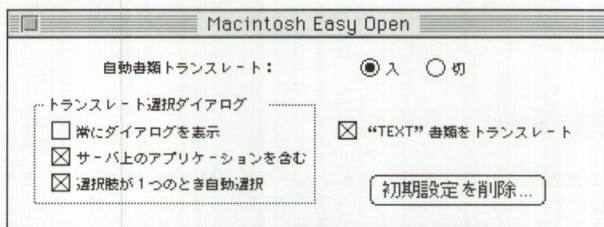
ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、トピック項目“DOSのファイルやディスクを使用する”の各項目を参照してください。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

Macintosh Easy Openによってファイルを開く

Macintosh Easy Openを使用すると、書類の作成に使用されたアプリケーションプログラムがない場合でも、Macintosh、DOS、Windowsの各ファイルを開くことができます。書類作成に使用されたアプリケーションプログラムがないときは、トランスレータが働きます。例えば、ワードプロセッサで作成された書類を開く場合で、作成に使用されたワードプロセッサが存在しない場合でも、利用可能なワードプロセッサソフトと変換プログラムによって、書類を開けます。

Macintosh Easy Open

Easy Openのオプションを設定するときは、アップル（）メニューからコントロールパネルを選び、“Macintosh Easy Open”コントロールパネルを開きます。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“プログラムを使う”の“どうすればいいの？”から“作成プログラムが不明の項目を開く”を選びます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

Macintosh ドラッグ&ドロップ

テキスト、グラフィック、サウンド、およびQuickTime ムービーは、コピー&ペーストを使用することなく移動が可能です。Macintosh ドラッグ&ドロップをサポートするプログラムでは、書類内や2つの書類間で、項目をドラッグによって移動できます。

また、書類からドラッグした項目は、“クリッピング”を作成することによって、デスクトップ画面に置くこともできます。クリッピングとは、ファイルの一種で、後に他の書類にドラッグして使用することができます。例えば仕事関係の住所をクリッピングにしておき、後に他の書類上に移動（ドロップ）して使用することができます。

テキストクリッピング　サウンドクリッピング

ピクチャクリッピング

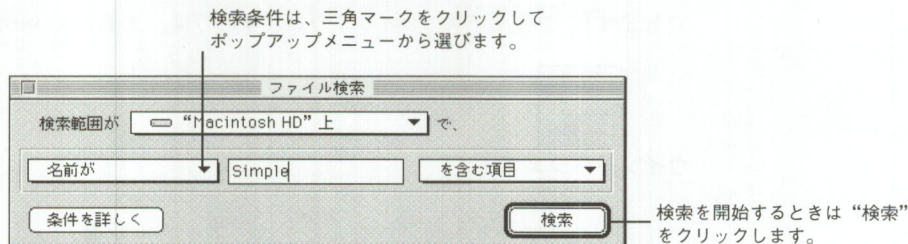
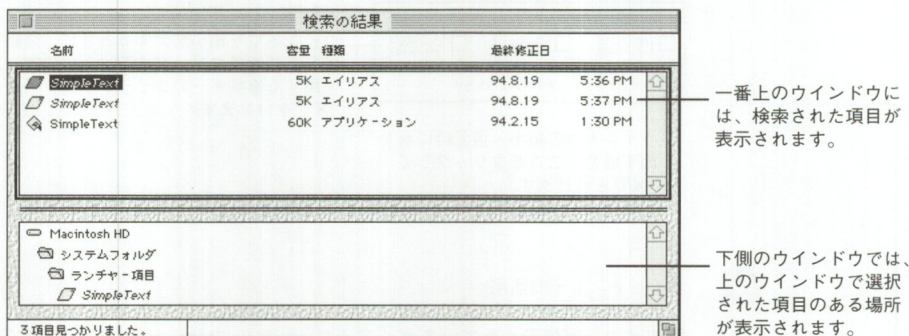
ドラッグ&ドロップ機能を使用するときは、最初に項目を選択し、次にその項目を新しい位置に移動します。この機能は、ノートパッド、SimpleText、スクラップブック、およびスティッキーズで使用できます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“ファイル”の“どうすればいいの？”から“項目をコピーする”、“クリッピングファイルを使用する”を選びます。

ファイル検索

ファイル検索では、複数の検索条件を指定できます。検索条件としては、場所（ディスク）、名前、サイズ、作成更新日、およびバージョン番号などが指定可能です。

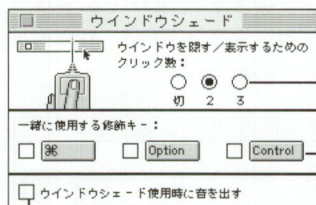
項目を検索するときは、アップル（）メニューから“ファイル検索”を選びます。

検索条件に合致した項目のリストが、検索の結果ウインドウに表示されます。ファイルを移動したりコピーしたりする、フォルダを開く、項目の情報を参照するなどの操作が、このウインドウから直接行なえます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“ファイル”の“どうすればいいの？”から“ファイルやフォルダを検索する”を選びます。ファイル検索ウインドウに表示されている項目についてさらに詳しく知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

ウインドウシェード

“ウインドウシェード”コントロールパネルを使うと、ウインドウを縮小してタイトルバーだけの表示にし、複数のウインドウが表示されているときの画面を見やすいように整理して表示させることができます。ウインドウを縮小表示させるときは、タイトルバーをクリックします（縮小表示に必要なクリック回数はコントロールパネルで設定します）。フルサイズのウインドウに戻すときは、タイトルバーを再度クリックします。

ウインドウシェード

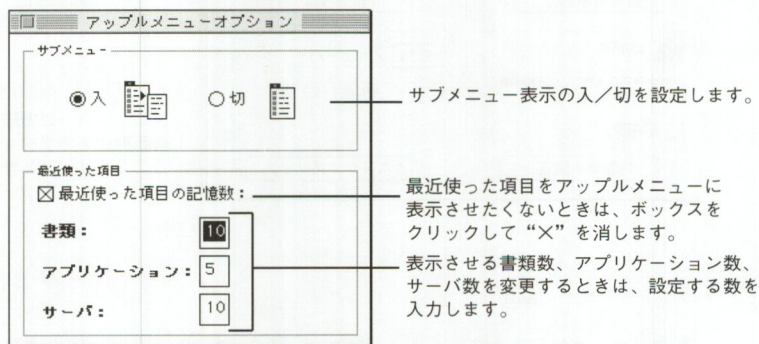
ウインドウシェードの設定をするときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いで“ウインドウシェード”コントロールパネルを開きます。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“オプションの設定”の“どうすればいいの？”から“ウインドウの大きさを変更する”を選びます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

アップルメニューのサブメニュー化

“アップルメニューオプション” コントロールパネルの設定によって、頻繁に使用する項目を、アップル（）メニューのサブメニューとして表示させることができます。アップルメニューにフォルダを入れた場合、フォルダ内の項目がサブメニューに表示されます。また、アップルメニューは最近使った書類やアプリケーション、サーバを表示します。

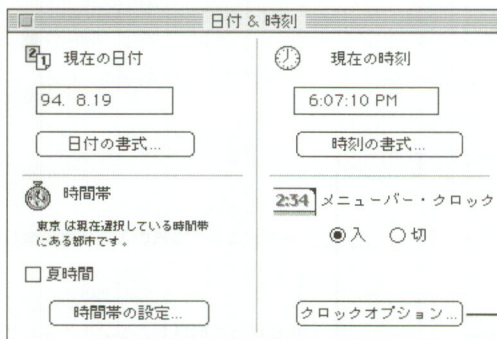
アップルメニューオプション

サブメニューのオプション設定を行なうときは、アップル（）メニューからコントロールパネルを選び、次いで“アップルメニューオプション” コントロールパネルを開きます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド” を選び、“トピック” ボタンをクリックします。トピック項目“オプションの設定” の“どうすればいいの？” から“アップル（）メニューの項目を変更する” を選びます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示” を選びます。

日付と時刻の表示

メニューバーに日付と時刻が表示できます。“日付&時刻”コントロールパネルでは、日付・時刻の表示形式を変更、およびアラームの設定ができます。

日付と時刻のオプションを設定するときは、アップル（）メニューからコントロールパネルを選び、次いで“日付 & 時刻”コントロールパネルを開きます。

メニューバーに表示される時刻の表示形式をオプション設定するときは、ここをクリックします。

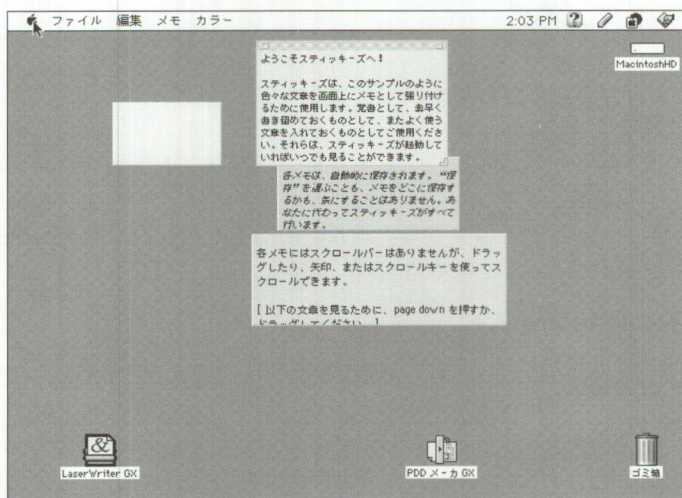
ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“オプションの設定”の“どうすればいいの？”から“時刻や日付を設定する”を選びます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

スティッキーズ

メモの紙を画面に貼り付けたような形でちょっとしたメモ書きを画面に表示することができます。これを“スティッキーズ”と呼びます。スティッキーズの表示色、文字のフォント、および文字スタイルは自由に変更できます。

メモ書きを見たり、画面に貼り付けたりするときは、アップル（）メニューから“スティッキーズ”を選びます。新しいメモを作成するときは、ファイルメニューから“新規メモ”を選び、メモの内容を入力します。メモの内容は、他の書類またはクリッピングからドラッグしてくることもできます。

重要　スティッキーズはウインドウの一種ですが、スクロールバーがありません。スクロールさせるときは、キーボードの矢印キーを使用します。

ガイドメニューの活用

スティッキーズウインドウのメニューなどの項目について知りたいときは、? アイコンが表示されているガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

自動処理

漢字Talk 7.5には、複数の手順からなる一連の処理を自動化する機能が組み込まれています。自動化できるのはFinder、およびAppleScript対応のアプリケーションプログラムにおける操作です。処理を自動化するには組み込みのスクリプト編集プログラムを使用します。

スクリプト編集プログラムを使用する

スクリプト編集プログラムは、一連の動作を自動化するためのスクリプト（またはプログラム）を作成するために使用するプログラムです。スクリプト編集プログラムの記録機能を使うと、利用者の動作を記録し、その動作からスクリプトを自動生成させることができます。

スクリプト編集プログラム

スクリプトを新しく作成するときも、スクリプト編集プログラムを使用します。スクリプト編集プログラムは、Apple エクストラフォルダ内のAppleScriptフォルダにあります。スクリプト編集プログラムの使用方法については、AppleScriptフォルダ内のユーザーズガイドをご覧ください。

スクリプト可能なFinderと自動処理

AppleScriptを使用すると、Finderで行なう各種処理の自動化ができます。漢字Talk 7.5には、スピーカ音量の増減などのFinder上の処理を自動化するためのサンプルスクリプトが付属しています。サンプルスクリプトはApple エクストラフォルダにあります。

スクリプトを実行するときは、アップル（）メニューから“自動処理”を選びます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“スクリプトで自動化する”を選びます。画面に表示される各項目についてさらに知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

SimpleText

SimpleTextは、Macintoshドラッグ&ドロップ、フォント、テキストスタイル、および QuickDraw GXプリントなど漢字Talk 7.5の新機能をサポートするシステム組み込みの簡易ワードプロセッサです。SimpleTextはTeachTextの書類を読み込むことができ、また機能自体もTeachTextに似ていますが、いくつかの機能が拡張・強化されています。例えばSimpleTextでは複数の書類を同時に開けるほか、QuickTimeムービーの再生も可能になっています。

SimpleTextにはテキストのフォント、サイズ、スタイルを設定するための3つの新しいメニューがあります。さらに録音機能がサポートされているMacintoshの場合は、SimpleTextのサウンドメニューを使って音声を録音し、書類に付加することができます。

ヘルプの活用

SimpleTextのメニュー項目について知りたいときは、? アイコンが表示されているガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

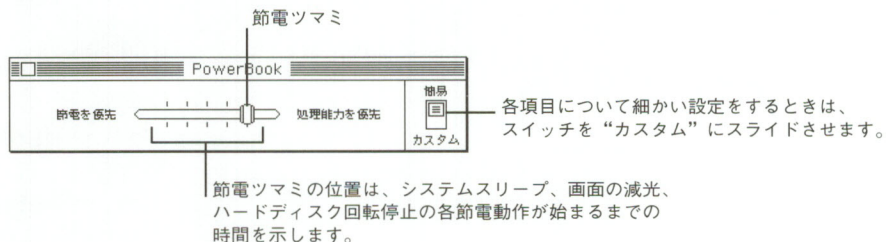
モービルコンピューティング

PowerBookの節電機能

“PowerBook” コントロールパネルでは、１つのコントロールパネルでPowerBook用バッテリ全種類の節電設定が可能になっています。また、簡易表示では、電力消費の設定を１つのツマミだけで設定することができます。カスタム表示にすると、細かい項目ごとのオプション設定が可能です。

バッテリの節電について設定するときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いで“PowerBook”コントロールパネルを開きます。

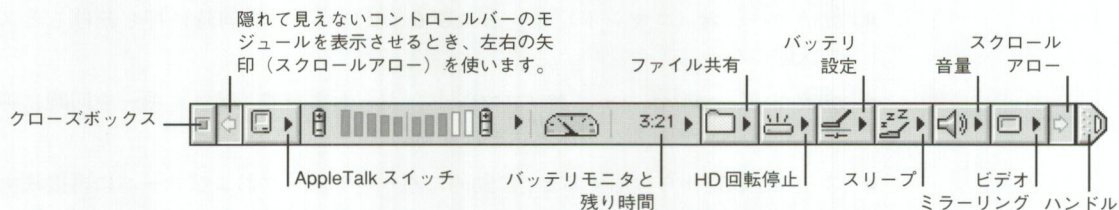
簡易表示のときは、節電ツマミを使ってバッテリ電力消費量の設定を行ないます。PowerBookが電源アダプタに接続されていない場合、“節電を優先”の側に設定すると、バッテリの電力消費量が抑えられ、長時間使用できます。“処理能力を優先”の側に設定すると、ハードディスクの停止などバッテリ節約のための作業の中断が最小限に抑えられます。

PowerBookが電源アダプタに接続されない場合、自動的に“節電を優先”に設定されます。電源アダプタに接続されるとツマミは自動的に“処理能力を優先”に移動します。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“バッテリ＆電源”を選びます。画面に表示される各項目についてさらに知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

PowerBook コントロールバー

最初にPowerBookの電源を入れると、画面の左下に小さなアイコンの並んだ帯が表示されます。これをコントロールバーと呼びます。

コントロールバーに表示される内容はPowerBookに装備されているオプションにより多少変化します。

コントロールバーによって、頻繁に使用する機能が簡単に使用できるようになります。一方綿密なシステム設定を行なうときに必要となるコントロールパネルも常時使用できます。コントロールバーによって、例えばバッテリの残量を確認したり、稼働可能な残り時間が一目でわかります。また、バッテリの消費を抑えるために、AppleTalkやファイル共有の入／切、音量の増減なども簡単にできます。

ガイドメニューの活用

❓ アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“コントロールバー”を選びます。コントロールバーに表示される各モジュールについてさらに知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

ファイル・アシスタント

ファイル・アシスタントにより、PowerBook上と他のMacintosh上にある指定されたファイルの内容を自動的に同一に保つことができます。ファイル・アシスタントは任意の2つのファイル、フォルダ、ディスク内容を、ネットワークまたはフロッピーディスクを通じて一致させます。

ガイドメニューの活用

❓ アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“ファイル”の“コンピュータ間でファイルを一致させる”を選びます。画面に表示されるその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

PowerBookに関連するその他の機能

これまでに説明した機能の他に、PowerBookには、携帯時の性能を高め、操作を容易にするために次のような新機能があります。

- プリンタ接続時に、プリントする書類を自動的にプリンタに送る。
- ネットワーク接続時に、メールを自動的に送信する。
- *shift*キー、⌘（コマンド）キーおよび*0*（ゼロ）キーを同時に押し続けるとスリープ状態になる。
- *shift*キー、*control*キー、⌘（コマンド）キーおよび*0*（ゼロ）キーを同時に押し続けるとハードディスクが休止状態になる。
- スリープ状態から復帰すると、自動的にハードディスクおよびサーバに再接続する。
- ハードディスクのかわりにRAMディスクを使用することで電力を節約する。電源を切ると、RAMディスク上のファイルはシステムフォルダに保存され、電源を入れると自動的にRAMディスクに復元される。

ガイドメニューの活用

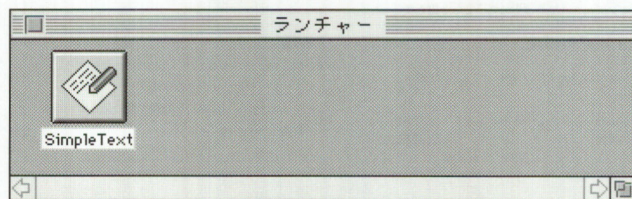
? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“バッテリ＆電源”を選びます。画面に表示されるその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

基本的な操作を簡単にする

初心者や子供、または特定用途にMacintoshを使用する場合などのために、Macintoshの操作がより簡単に行なえるよう、次の設定をすることができます。

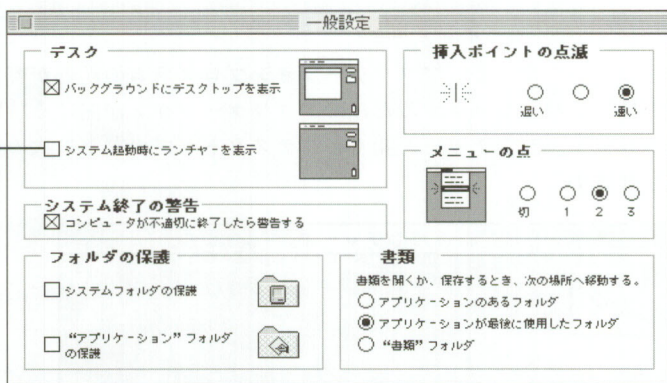
- アプリケーションプログラムを簡単な操作で起動できるようにする。
- 作成した書類をデスクトップ上にある特定のフォルダに保存し、書類を見つけやすくする。
- アプリケーションプログラムの使用中はデスクトップ（Finder）の項目を隠す。
- アプリケーションを削除したり、その名前を変更したりできないようにする。

プログラムのワンタッチ起動

ランチャーを使うと、アプリケーションプログラムの起動が容易になります。ランチャーは、1回クリックするだけでアプリケーションが開ける特別なボタンを持つウインドウです。ランチャーが開くと、デスクトップの左下に次のようなウインドウが表示されます。

ランチャーのウインドウを開くときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“ランチャー”を選びます。

Macintoshが起動されたときに自動的にランチャーのウインドウが開くように設定したいときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“一般設定”を選びます。

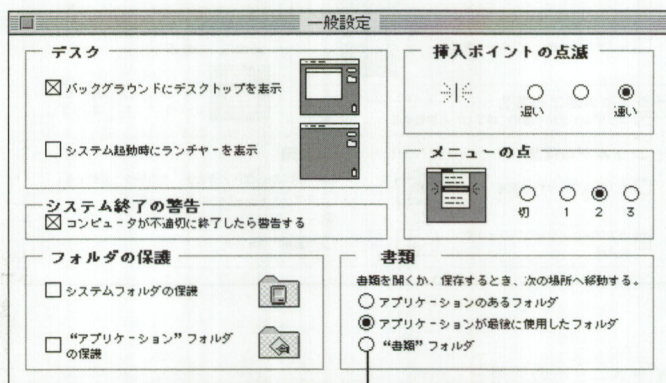
デスクトップの設定によって、Macintoshが起動されたときにランチャーのウインドウが開くようにできます。

起動時にランチャーが自動的に表示されるように設定するときは、ここをクリックして“×”を付けます。右の絵が、設定されたデスクトップの様子を表しています。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“索引”ボタンをクリックして、索引項目“ランチャー”を表示させます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

書類フォルダの利用

作成した書類をデスクトップ上の“書類”という名称のフォルダに自動的に保存されるように設定して、作成した書類を探しやすくすることができます。この設定にすると、どのアプリケーションを使用するときも、書類を開くときや保存する際に、“書類”フォルダが優先的に使用されます。

“書類”フォルダを設定するときは、アップル（）メニューからコントロールパネルを選び、次いでコントロールパネルから“一般設定”を選びます。

デスクトップに“書類”フォルダを作り、書類を保存したり、開いたりする場所として使用するときは、このボタンをクリックします。

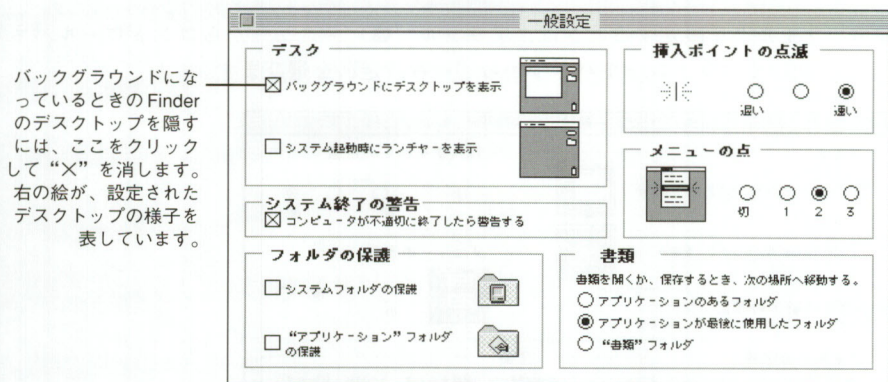
ヘルプの活用

コントロールパネルの他の項目について知りたいときは、? アイコンが表示されているガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

Finder を隠す

アプリケーションが開いているときに、Finder のデスクトップを表示しないように設定することができます。この設定にすると、誤ってアプリケーションのウインドウの外側をクリックしても、Finder に戻りません。ハードディスク、ゴミ箱、フォルダなど Finder のデスクトップ上にある項目は、アプリケーションを閉じるまで表示されません。

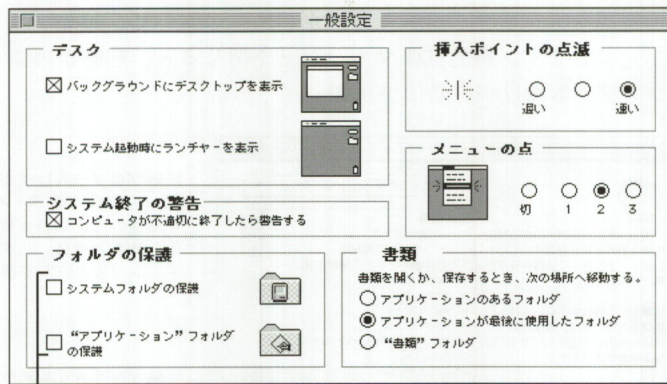
Finder を隠す設定にするときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“一般設定”を選びます。

バックグラウンドになっているときの Finder のデスクトップを隠すには、ここをクリックして“X”を消します。右の絵が、設定されたデスクトップの様子を表しています。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“索引”ボタンをクリックして、索引項目“Finder”の“どうすればいいの？”から“プログラムの切り替えを禁止する”を表示させます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

重要なソフトウェアプログラムを保護する

“一般設定”コントロールパネルの設定により、システムフォルダおよび“アプリケーション”フォルダを保護できます。フォルダが保護されている場合、フォルダ内の項目は保護され、削除したり、名前を変更することはできません。フォルダへの新しい項目の追加は可能です。

システムフォルダおよびアプリケーションフォルダを保護する設定にするときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“一般設定”を選びます。

システムフォルダの項目の名前の変更、削除ができないようにするときは、上のチェックボックスをクリックして“×”を付けます。下のチェックボックスに×マークを入れるとアプリケーションフォルダが自動作成され、アプリケーションフォルダ内の項目の削除、名前の変更ができないようになります。

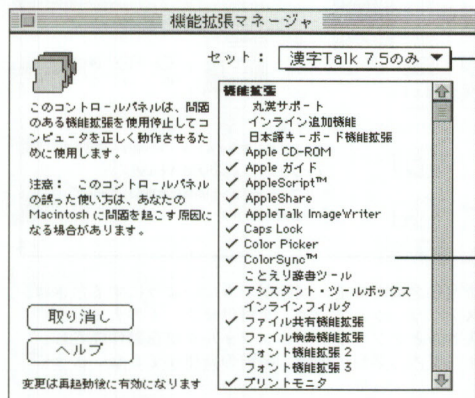
ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“索引”ボタンをクリックして、索引項目“ファイルの保護”の“どうすればいいの？”から“ファイルやディスクを保護する”を表示させます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

機能拡張マネージャ

“機能拡張マネージャ”コントロールパネルを使うと、機能拡張およびコントロールパネルプログラムなど、さまざまな起動プログラムの使用・不使用を指定できます。

機能拡張マネージャ

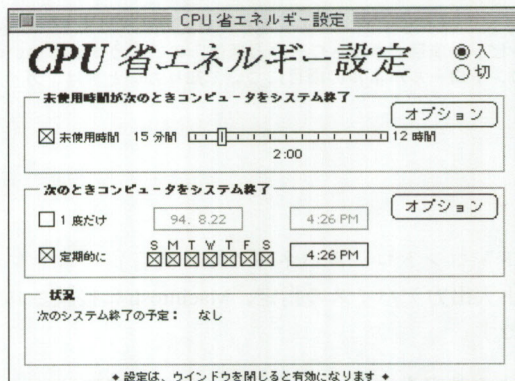
機能拡張マネージャを使うときは、起動時にスペースバーを押したまま、コンピュータの電源を入れます。コントロールパネルが開いて、起動プログラムの使用・不使用が指定できます。機能拡張マネージャを閉じると、起動が再開されて、指定した機起動プログラムだけが有効になります。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“オプションの設定”の“どうすればいいの？”から“システムフォルダの機能拡張を管理する”を選びます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

コンピュータの電源を自動的に切る

キーボードから電源の入／切が可能な機種（Quadra 700を除くQuadraシリーズおよびCentrisシリーズ以降の機種）では、“CPU省エネルギー設定”コントロールパネルを使用して、コンピュータが自動的にシステム終了するように設定できます。指定された一定時間Macintoshが使用されないとシステム終了する設定のほかに、特定の曜日・時刻になるとシステム終了するように設定することもできます。

CPU省エネルギー設定

システムの自動終了の設定をするときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“CPU省エネルギー設定”を選びます。

システム終了する条件になっても、共有ディスクに接続されているときや、シリアルポートがプリントまたは通信などに使用されているとき、また画面に動作中を表わすポインタ（腕時計など）が表示されているときなど、特定の状況のときはシステム終了しないよう設定することもできます。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“オプションの設定”の“どうすればいいの？”から“コンピュータの電源を自動的に切る”を選びます。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

TCP/IPネットワークのサポート

漢字Talk 7.5では、UNIXネットワークの業界標準プロトコルであるTCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）がサポートされています。TCP/IPを使用することにより、クレイ社のスーパーコンピュータやサンマイクロシステムズ社のワークステーション、VAXシステムなど多くのシステムへの接続が可能になります。

MacTCPのインストール方法については、付録A「カスタムインストールオプションの実行」をご覧ください。

MacTCP

ガイドメニューの活用

⍰ アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“ネットワーク＆通信”の“どうすればいいの？”から“TCPで接続する”を選びます。コントロールパネルの項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

高音質オーディオ

新しい“サウンド”コントロールパネルでは、高音質なステレオサウンドをサポートします。サウンド入出力デバイスの指定、Macintoshに接続されているデバイスごとの音量設定が可能です。

高音質オーディオの設定をするときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“サウンド”を選びます。

サウンド

ガイドメニューの活用

⍰ アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“サウンド”の各項目を表示します。コントロールパネルのその他の項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

オーディオCDプレーヤ

漢字Talk 7.5には、音楽用CDの再生をコントロールするプログラムが用意されています。CDを再生するためには、CD-ROMドライブが必要になります。

音楽用CDを再生するときは、CDをCD-ROMドライブにセットしてから、アップル（）メニューから“AppleCDオーディオプレーヤ”を選びます。実際のCDプレーヤにあるような操作パネルのウインドウが表示されます。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“索引”ボタンをクリックして、索引項目“CD-ROM”の各説明を表示させます。ウインドウの各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

デスクトップパターンの充実

“デスクトップパターン”コントロールパネルにより、より豊富な色彩と模様のデスクトップパターンが使えるようになりました。新しいデスクトップパターンを作成する際にはPICT形式で保存されているグラフィックや写真をコピー&ペーストによって利用できます。PICT形式のクリッピングをドラッグ&ドロップによって利用することもできます。

デスクトップパターンを選んだり、新しいパターンを作成したりするときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“デスクトップパターン”を選びます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“オプションの設定”の“どうすればいいの？”から“バックグラウンドパターンを変更する”を選びます。コントロールパネルの項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

システム終了

コマンド“システム終了”は、アップル（）メニューからも選択できるようになりました。このため、アプリケーションの使用中もFinderに戻ることなくシステム終了が可能です。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“基本操作の確認”の“どうすればいいの？”から“コンピュータの電源を切る”を選びます。

QuickTime

QuickTimeの機能拡張ファイルにより、アプリケーションプログラムがグラフィック、サウンド、アニメーションを書類に取り入れることが可能です。QuickTimeはPower Macintoshの高速演算能力が活かされるように設計されています。

QuickTimeそのものは、直接の操作対象にはなりません。QuickTimeはシステムソフトウェアの一部として機能し、アプリケーションプログラムに機能を付加します。QuickTimeによってもたらされる機能は、使用するアプリケーションプログラムにより異なります。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“索引”の項目“QuickTime”を選びます。

新しいスクラップブック

新しいスクラップブックでは、Macintosh ドラッグ&ドロップがサポートされます。ドラッグ&ドロップをサポートするアプリケーションプログラムを使用しているときは、スクラップブックの内容をドラッグして書類上に移したり、クリッピングとしてデスクトップにおいたりできるほか、その逆にスクラップブックにドラッグして移すなどの操作ができます。

また、新しいスクラップブックでは、スクラップブックウインドウの右下にあるサイズボックスをドラッグしてウインドウサイズの変更ができます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“索引”の項目“スクラップブック”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

新しいノートパッド

ノートパッドでは、Macintoshドラッグ&ドロップがサポートされます。ドラッグ&ドロップをサポートするアプリケーションプログラムを使用している時は、項目をノートパッドの新しい位置までドラッグしたり、項目をノートパッドまでドラッグしたり、ノートパッドからデスクトップにドラッグしてクリッピングを作成したりすることができます。

また、従来以上に大きなメモ書きの作成およびプリントが可能なほか、文字列の検索もできます。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから"Macintoshガイド"を選び、"索引"の項目"ノートパッド"を選びます。ノートパッドウインドウ各部やメニューについて知りたいときは、ガイドメニューから"バルーン表示"を選びます。

欧文文字キーボードのサポート

"キーボード"コントロールパネルでは、英語のほかにフランス語、ドイツ語のキー配列が組み込みでサポートされます。

使用するキー配列を選択するときは、アップル()メニューから"コントロールパネル"を選び、次いでコントロールパネルから"キーボード"を選びます。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから"Macintoshガイド"を選び、"索引"の項目"キーボード配列"を選びます。コントロールパネルの項目について知りたいときは、ガイドメニューから"バルーン表示"を選びます。

ボタンの機能を停止させる

“ボタン機能停止”コントロールパネルを使うと、コンピュータ前面の音量調節ボタンおよびスクリーンのコントラスト調節ボタンの機能を無効にすることができます。

ボタン機能を停止させるときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“ボタン機能停止”を選びます。

ボタン機能停止

ボタン機能停止のチェックボックスをクリックして、“×”を付けます。再度クリックして“×”マークを消すまで、ボタン機能が停止します。

ヘルプの活用

コントロールパネルの他の項目について知りたいときは、? アイコンが表示されているガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

テレフォンマネージャ

漢字Talk 7.5では、Macintoshと電話回線を接続して、各種の操作を行うための機能が組み込まれています。テレフォンマネージャをサポートするアプリケーションプログラムを使う場合、電話回線経由でソフトウェア間での情報の交換が可能になります。

マルチタスク機能

スレッドマネージャ（Thread Manager）により、複数のプログラムのプリエンプティブ処理、協調的マルチタスク処理が可能になっています。

統合されたSystem Enabler

Macintosh各機種ごとに相違があったSystem Enabler（システム イネーブラ）は、全機種共通のEnablerに統合されてシステムソフトウェアに組み込まれました。

大容量記録媒体のサポート

ハードディスクや光磁気ディスクなど、1媒体あたり最大4GB（ギガバイト）の媒体が使用できるようになりました。

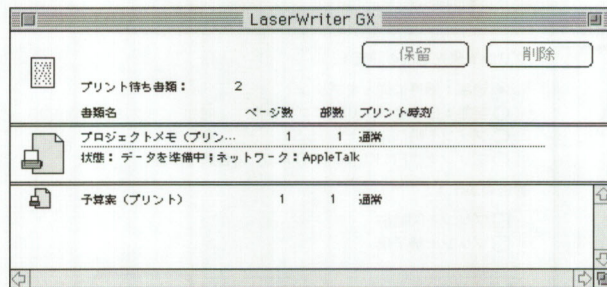
QuickDraw GXによるプリントとパブリッシング機能

QuickDraw GXは、容易で強力なプリント機能、フォント関連機能を提供することによって、カラー出版に対する対応を強化します。QuickDraw GXによって作成された書類は、他のQuickDraw GX利用者が内容を表示したりプリントしたりすることが可能です。また、PDD（携帯用ディジタル書類）であればこのときの書類の作成に使用したアプリケーションやフォントを必要としません。

本節で説明しているQuickDraw GXの機能を最大限に活用するためには、QuickDraw GX対応のアプリケーションプログラムを使用する必要があります。

プリント作業の容易化

デスクトップのプリンタアイコンを利用することによって、複数のプリンタを使用することができます。優先的に使用するプリンタをセットするときは、新しいプリントメニューで“省略時プリンタ指定”を選択します。書類をプリントするときは、書類のアイコンをプリンタアイコンまでドラッグするだけです。

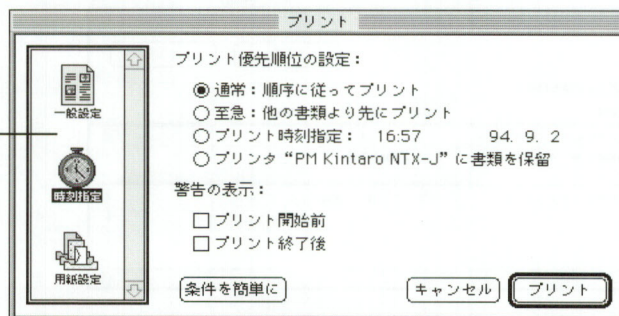
プリンタに送られた書類の一覧リスト（プリントキュー）を表示させるときは、プリンタアイコンをダブルクリックします。プリントキューのウインドウでは、プリント中の書類の中断や取消（プリントキューからの削除）が可能です。プリントキューウインドウの書類をドラッグして、他のプリンタに送ることもできます。

重要　ネットワーク上の共有プリンタをデスクトッププリンタにして使う場合、共有プリンタのプリンタアイコンは、開かないようにしてください。共有プリンタのプリントキューウインドウを開いたままにしておくと、ネットワークに大きな負荷を生じたり、お使いのシステムが壊れてしまうおそれがあります。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“プリント＆フォント”の“どうすればいいの？”から“プリント作業を管理する”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

プリントダイアログの強化

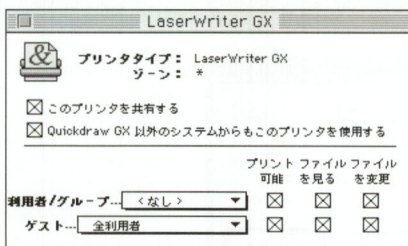
QuickDraw GX をサポートするアプリケーションプログラム（SimpleText など）の場合、“プリント”を選択すると、QuickDraw GX のプリントダイアログが表示されます。このダイアログでは、ページ順をそろえて複数部数の書類をプリントする（丁合プリント）、プリント関連の機能拡張の使用など、各種の機能が強化されています。

プリント機能をカスタマイズするためには、対応する機能拡張をインストールする必要があります。インストールされた機能拡張を使用するときは、“プリント”を選択すると表示されるダイアログの“条件を詳しく”ボタンをクリックします。例えば次の機能拡張では、プリント時刻などの設定が可能です。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“プリント＆フォント”の“どうすればいいの？”から“プリントオプションを変更する”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

プリンタ共有

ファイルを共有する場合とほぼ同じ方法で、プリンタを共有することができます。プリンタがMacintoshに直接接続されており、そのMacintoshがネットワークに接続されている場合、ネットワーク上でプリンタの共有が可能で、またパスワードによる利用制限を設けることもできます。

プリンタを共有するときは、デスクトップのプリンタアイコンを選択してからファイルメニューの“共有”を選択します。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“プリント＆フォント”の“どうすればいいの？”から“プリンタを他の利用者と共有する”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

携帯用書類

PDD（Portable Digital Document：携帯用ディジタル書類）は、QuickDraw GXがインストールされているすべてのMacintoshで表示やプリントができる書類です。PDDは表示とプリントの専用書類であるため、内容の更新はできません。PDDは、その書類の作成に使用したアプリケーションやフォントがない場合でも、プリントおよび表示が可能です。

PDD（携帯用ディジタル書類）を作成するときは、デスクトップのPDDメーカを使用します。PDDメーカアイコンの作成方法は、漢字Talk 7.5のインストール方法を述べた本書の第3章で説明しています。

PDD メーカ GX

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“プリント＆フォント”の“どうすればいいの？”から“携帯用ディジタル書類を作成する”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

タイポグラフィ

QuickDraw GXは、タイポグラフィの多くの処理を自動化します。QuickDraw GX対応のアプリケーションプログラムでは、文字を入力するだけで、高品質な文書が作成できます。

QuickDraw GXのフォントには、カーニング、ジャスティフィケーション、合字などの特殊文字に関する設定情報を持っており、QuickDraw GX対応のアプリケーションプログラムでは、カーニングやジャスティフィケーションなどが自動的に行われます。

QuickDraw GXで使用されるフォントは、すべてシステムフォルダ内のフォントフォルダに保存されています。フォントにはビットマップ、TrueType、PostScriptの3種類があり、Apple TrueTypeフォントのサポート機能もQuickDraw GXに組み込まれています。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“索引”の項目“フォント”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

一定の色を再現する

QuickDraw GXでは、多様なカラーモニタ、スキャナ、およびカラープリンタを通じて書類上の色を一定に保つために、ColorSync（カラーシンク）が使用されます。色を正確に再現するためには、書類の表示に使用するカラーモニタの種類をシステムに通知する必要があります。

使用するモニタをシステムに通知するときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いで“ColorSyncシステム特性”コントロールパネルを選びます。

ColorSync™ システム特性

表示されているモニターが正しくないときは、ポップアップメニューから“システム特性の設定”を選びます。次いで正しいモニタを一覧表示の中から選びます。

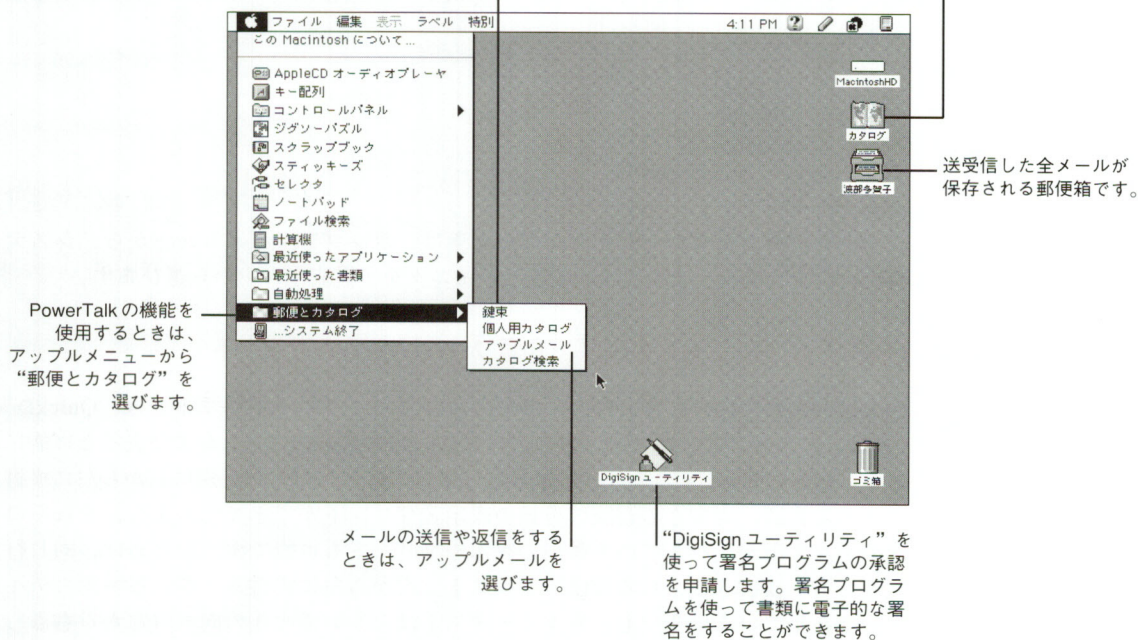
QuickDraw GXによる各国語の書類フォーマットのサポート

QuickDraw GX対応で各国語をサポートするプログラムを使用するとき、QuickDraw GXは、アラビア文字やローマ字のような各国語書類のプリントおよび表示を可能にします。QuickDraw GXにより、左から右へ横書きにされる言語、逆に右から左に横書きにされる言語、縦書きの言語の書類の表示・プリントができます。また、それらの言語のテキストが混在している書類の表示やプリントも可能です。たとえば、同じ行に左から右へ横書きにされる言語のテキストと右から左に横書きにされる言語のテキストが混在している場合でも、各々のテキストは正しい横書きの向き（左から右もしくは右から左）に表示・プリントされます。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintoshガイド”を選び、“索引”の項目“テキスト”の“テキストの表示方法を変更する”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

PowerTalkによる協調作業サービス

PowerTalkシステムソフトウェアは、集団での作業効率を向上させます。PowerTalkは、デスクトップおよびアップル（）メニューに多くの新機能を提供します。

郵便箱

PowerTalkは、ファクス、ボイスメール、電子メール、ファイル転送など、Macintoshが送受信した全情報を一括して取り扱うことができ、そのための郵便箱アイコンをデスクトップに表示します。他社のメールゲートウェイがインストールされた場合、各種オンラインサービスを通じて受信した電子メールも、この郵便箱に入ります。

ガイドメニューの活用

アイコンが表示されているガイドメニューから"PowerTalk用ガイド"を選び、トピック項目"送信と受信"の各項目を表示させます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから"バルーン表示"を選びます。

カタログ

PowerTalkのカタログは、緊密に連絡を取り合う必要がある他の利用者またはグループに関する情報を保存します。カタログアイコンを使うと、ネットワーク上の共有カタログを利用できます。

カタログアイコンをダブルクリックして開き、次いでAppleTalkカタログを開くと、カタログのサンプルを見ることができます。AppleTalkカタログが開いているときは、サーバや個別の利用者など、AppleTalkネットワーク上のすべてにアクセス可能になります。

特定の個人間またはグループ間で頻繁な情報交換が行われる場合、個人またはグループに関する情報カードを作成することができます。カードを作成することによって、情報の交換がより容易に行なえます。例えば誰かに書類を送る場合、送り先となる人の情報カードのアイコンまで書類をドラッグするだけで、書類の送信が可能です。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“PowerTalk用ガイド”を選び、トピック項目“カタログと情報カード”の各項目を表示させます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

鍵束による保安管理

PowerTalkにより、アプリケーションやサーバごとに必要だった複数のパスワードを単一のパスワード（鍵束の利用暗号名）に統合することができます。コンピュータの電源を入れてから一度だけこのパスワードを入力するだけで、ネットワークの全サーバにアクセス可能になります。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“PowerTalk用ガイド”を選び、“索引”の項目“鍵束”を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

アップルメール

PowerTalkには、アップルメールというプログラムが組み込まれています。アップルメールを使用すると、スタイルを変えた文字や画像、動画を含むメッセージを作成することができます。

アップルメールを使用するときは、アップル（）メニューから“コントロールパネル”を選び、次いでコントロールパネルから“郵便とカタログ”を選びます。次いでサブメニューから“アップルメール”を選びます。

アップルメール

ガイドメニューの活用

アップルメールの使用中に、? アイコンが表示されているガイドメニューから“アップルメールガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

電子署名

PowerTalkのDigiSignテクノロジーは、電子的な回覧板（またはりん議書）機能を実現します。DigiSignユーティリティを使用すると、書類のプリントや回覧などといった時間のかかるプロセスを経ることなく、書類の作成、受信、署名、次の人への回送といったプロセスが行なえます。

DigiSignユーティリティは、Apple エクストラフォルダ内のPowerTalkフォルダにあります。

DigiSign ユーティリティ

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“PowerTalk用ガイド”を選び、トピック項目“電子署名”の各項目を選びます。画面に表示される各項目について知りたいときは、ガイドメニューから“バルーン表示”を選びます。

7 トラブルシューティング

本章では、漢字Talk 7.5のアップグレードに際して、発生する可能性があるトラブルへの対処方法を説明します。

インストール作業中のトラブル

この節では、インストーラ使用中のトラブルに対する対処方法を説明します。

メモリ容量不足のためインストーラが開かない

問題：インストーラを使おうとすると、インストーラを使うためのメモリが不足していることを知らせるメッセージが表示される。

原因：インストーラを開くために必要なメモリが不足しています。これは通常、ディスクキャッシュまたはRAMディスクに割り当てられているメモリが大きすぎるために発生します。

対処：開いている全プログラムを終了させます。また、“メモリ”コントロールパネルを開いてディスクキャッシュに割り当てるメモリを可能な限り少なくします。

メモリ容量不足

問題：インストーラを使おうとすると、コンピュータのメモリが不足していることを知らせるメッセージが表示される。

原因：漢字Talk 7.5、PowerTalk、QuickDraw GX、またはその同時使用に必要なRAMが不足しています。

対処：必要なメモリについては、第1章「メモリ容量の確認」をご覧ください。メモリの増設・購入が必要な場合は、販売店にご相談ください。

ディスク容量不足

問題：インストーラを使おうとすると、利用可能なディスク容量が足りないというメッセージが表示される。

原因：ソフトウェアのインストールに必要なディスク容量が不足しています。

対処：不要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。ファイルを削除するときは、必要に応じてバックアップを作成してから、ファイルのアイコンをゴミ箱までドラッグします。

フロッピーディスクからインストールしている場合は、「インストール1」ディスクを使用してシステムの起動を試みることもできます。このようにすると、インストールに必要なディスク容量が減少します。

システムファイルの更新に伴う問題

問題：インストーラを使おうとすると、システムファイルが更新できないというメッセージが表示される。

原因1：システムファイルの更新を阻止するウイルス防止用プログラムが使用されています。

対処1：システムフォルダからウイルス防止用プログラムを取り除いてシステムを再起動し、ウイルス防止用プログラムを使わないように設定にします。インストールが終了すれば、ウイルス防止用プログラムは再び使用できます。

フロッピーディスクまたはCDからインストールしている場合は、コンピュータの再起動時に*shift*キーを押し続けることによって、機能拡張を外すことができます（ネットワークからインストールしている場合は、機能拡張はネットワークサーバへの接続に必要なので外すことはできません）。

原因2：システムフォルダが保護されているか、またはシステムファイルとFinderファイルがロックされている。

対処2：システムフォルダの保護を解除するときは、"Performa"または"一般設定"コントロールパネルを開きます（どちらを使用するかはシステムソフトウェアのバージョンにより異なります）。システムファイルおよびFinderファイルがロックされているかどうか確認するときは、そのファイルのアイコンを選択して、ファイルメニューから"情報を見る"を選びます。ファイルのロックを解除するときは、ロックのチェックボックスをクリックして"×"を消します。

漢字Talk 7.5使用中の問題

この節では、インストールが終了した漢字Talk 7.5使用中のトラブルに対する対処方法を説明します。

コンピュータが起動しない

問題：電源を入れると、爆弾アイコンが表示される。

原因1：システムフォルダ内に互換性のない起動プログラム（機能拡張、コントロールパネルなど）が存在している可能性があります。

対処1：互換性がない可能性のある起動プログラムを使用しないためには、コンピュータの再起動時にスペースバーを押し続けます。機能拡張マネージャが開いたら、ポップアップメニューから“漢字Talk 7.5のみ”を選択します。機能拡張マネージャを閉じると、起動が続行されます。漢字Talk 7.5用以外のすべての起動プログラムはオフにされます。コンピュータの起動に成功したら、原因が起動プログラムにあるか調べる必要があります。詳しい方法については付録C「互換性のチェック」をご覧ください。

原因2：システムソフトウェアが損傷している可能性があります。

対処2：「ディスクツール」ディスクを使用してコンピュータを起動します。コンピュータを再起動したら、付録B「新規インストールの実行」の手順にしたがって漢字Talk 7.5を再インストールしてください。

コンピュータを再起動しなければならないトラブルが頻発する

問題：アプリケーションプログラムの使用中に、コンピュータを再起動しなければならない状況が頻繁に生じる。

原因：システムフォルダに互換性のない起動プログラム（機能拡張、コントロールパネルなど）が存在している可能性があります。アプリケーションプログラム自体に漢字Talk 7.5と互換性のないことも考えられます。

対処：互換性がない可能性のある起動プログラムを使用しないためには、コンピュータの再起動時にスペースバーを押し続けます。機能拡張マネージャが開いたら、ポップアップメニューから“漢字Talk 7.5のみ”を選択します。機能拡張マネージャを閉じると、スタートアップが続行されます。漢字Talk 7.5用以外のすべての起動プログラムはオフにされます。

アプリケーションプログラムの互換性については、ソフトウェアの供給元にお問い合わせください。同一のアプリケーションであっても、バージョンにより漢字Talk 7.5で動作しない場合もあります。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューからMacintoshガイドを選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“トラブルシューティング”の各項目を参考にしてください。

QuickDraw GX使用中の問題

この節では、インストールが終了したQuickDraw GX使用中のトラブルに対する対処方法を説明します。

セレクタでアップル純正以外のプリンタが選べない

問題： QuickDraw GXのインストール後に、アップル製以外のプリンタが選択できなくなった。

原因： QuickDraw GXをインストールした状態で、アップル製以外のプリンタを利用するときは、QuickDraw GX用のプリンタドライバが必要です。QuickDraw GXのインストーラでは、アップル純正プリンタ用のドライバだけが提供されます。

対処： 使用しているプリンタがアップル製以外のPostScriptプリンタのときは、Apple LaserWriter GXドライバを使用してみてください。LaserWriter GX用のプリンタドライバのインストール方法については付録A「カスタムインストールオプションの実行」をご覧ください。

アップル製以外のプリンタ用ドライバについては、各プリンタメーカにお問い合わせください。

また、一時的にQuickDraw GXを使わない設定にすることによって、いままで使用していたプリンタドライバを使用することができます。QuickDraw GXを不使用にするときは、コンピュータの再起動時にスペースバーを押し続けます。機能拡張マネージャが開いたら、QuickDraw GX機能拡張をクリックして、チェックマークを消します。これによって、QuickDraw GXは使用されなくなります。機能拡張マネージャを閉じると、起動が続行されます。プリンタは正常に動作するはずです。ただしQuickDraw GXの機能は、再度使用する設定にするまで使えなくなります。

セレクタでファクスモデムが選べない

問題： QuickDraw GXのインストール後に、ファクスモデムが選択できなくなった。

原因： ファクスモデムを使用するためには、QuickDraw GX用のファクスモデムドライバが必要です。

対処： アップル製のファクスモデムを使用している場合は、販売店にお問い合わせください。アップル製以外のファクスモデムを使用している場合は、ファクスモデムのメーカにお問い合わせください。

また、一時的にQuickDraw GXを使わない設定にすることによって、いままで使用していたファクスモデムドライバを使用することができます。QuickDraw GXを使わない設定にするときは、コンピュータの再起動時にスペースバーを押し続けます。機能拡張マネージャが開いたら、QuickDraw GX機能拡張をクリックして、チェックマークを消します。これによって、QuickDraw GXは使えなくなります。機能拡張マネージャを閉じると、起動が続行されます。これでファクスモデムは正常に動作するはずです。QuickDraw GXの機能は、再度使用する設定にするまで使えません。

特定のアプリケーションでのプリントがうまくできない

問題： QuickDraw GXのインストール後、特定のアプリケーションプログラムで作成した書類がプリントできなくなった。

原因： アプリケーションプログラムが、QuickDraw GXプリンタドライバと互換性がない可能性があります。

対処： QuickDraw GXユーティリティのQuickDraw GXヘルパーユーティリティを使用して、問題のアプリケーションプログラムではQuickDraw GXプリント機能を使わない設定にします。まず、問題のプログラムを起動して、アップルメニューを開きます。メニュー項目として、"デスクトップ・プリントをオフにする"が表示されているはずです。このメニュー項目を選ぶと、デスクトッププリントがオフになり、そのアプリケーションプログラムからは非GXのプリンタドライバが使用されます。メニュー項目は"デスクトップ・プリントをオンにする"に変わります。QuickDraw GXヘルパーはQuickDraw GXソフトウェアの簡易インストールの際にインストールされていますが、何らかの理由でQuickDraw GXユーティリティのインストールが必要なときは、付録A「カスタムインストールオプションの実行」をご覧ください。

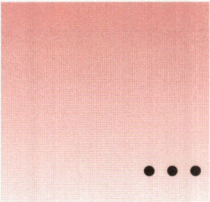
ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから"Macintoshガイド"を選び、"トピック"ボタンをクリックします。トピック項目"トラブルシューティング"の各項目を参考にしてください。

PowerTalk使用中の問題

郵便箱に入らない電子メールおよびファクスがある

問題： サードパーティのオンラインサービスまたは電子メールプログラムを介して伝わった情報が郵便箱に入らない。

原因： サードパーティのオンラインサービスまたは電子メールプログラムを介して行なった情報の交換内容を郵便箱に入れるためには、メールゲートウェイが必要です。

対処： パーソナルゲートウェイについて、ネットワークサービス業者またはメールプログラムの開発元に問い合わせてください。

ガイドメニューの活用

? アイコンが表示されているガイドメニューから“Macintosh ガイド”を選び、“トピック”ボタンをクリックします。トピック項目“トラブルシューティング”の各項目を参考にしてください。

付録A
カスタムインストールオプションの実行

多くの場合、漢字Talk 7.5のインストールには、簡易インストールオプションによって行ないます（本書の第2章）。簡易インストールオプションでは、インストール対象となるMacintoshに必要なソフトウェアだけがインストールされます。例えば、プリンタドライバの更新については、既存のドライバは更新されますが、新しいプリンタドライバはインストールされません。

カスタムインストールオプションを使うと、インストールするシステムファイルやドライバなどの組み合わせを、利用者のニーズに合わせて自由に選択することが可能で、システムソフトウェアを構成する各部分単位でインストールまたは更新できます。

カスタムインストールオプションは通常、次のような場合に利用します。

- 簡易インストールオプションではインストールされないソフトウェア（各種のユーティリティ、新しいプリンタドライバ、MacTCPなど）のインストール
- 68000系とPowerPC系を合わせたすべてのMacintoshで使用できるシステムを作成してインストールする場合

次ページから、漢字Talk 7.5およびQuickDraw GXのカスタムインストールの操作手順について説明します。

1 開いているアプリケーション、デスクアクセサリなどがあれば、すべて終了します。

2 カスタマイズするソフトウェアのインストーラを開きます。

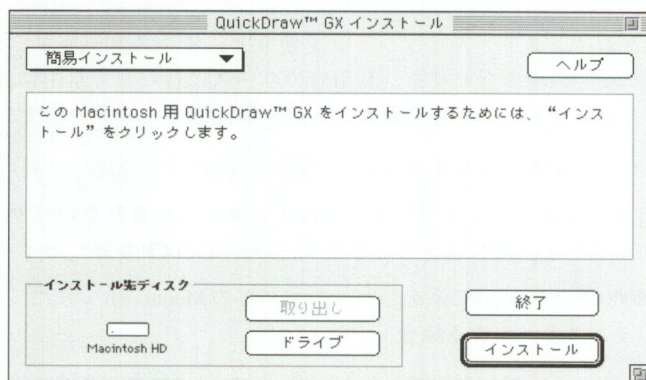
漢字Talk 7.5のインストーラを開くには、「インストール1」ディスクをドライブにセットするか、CD内にある"漢字Talk 7.5 CDインストール"のアイコンをダブルクリックして開きます。

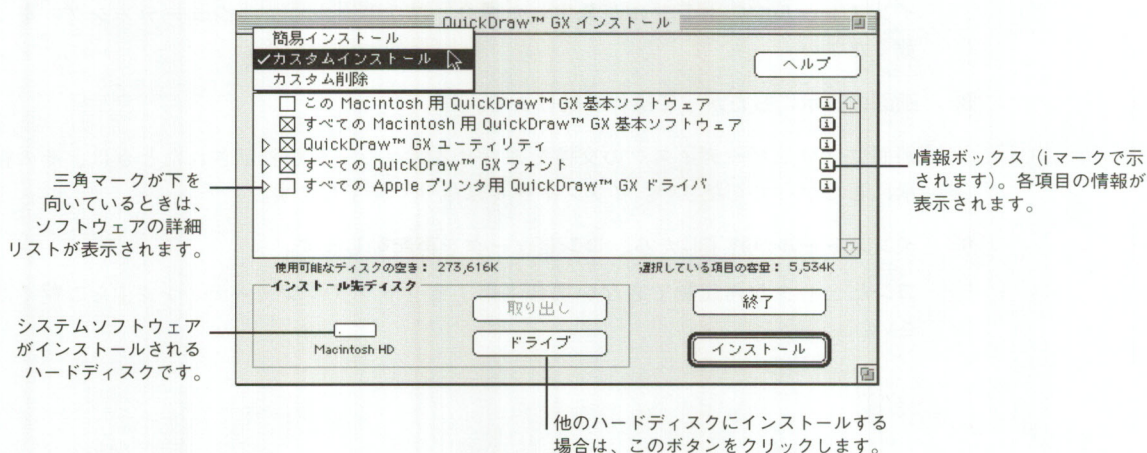
QuickDraw GXのインストーラを開くには、「インストール」ディスクをドライブにセットするか、CD内のQuickDraw GXフォルダにある"QuickDrawインストール"のアイコンをダブルクリックします。

PowerTalkにはカスタムインストールオプションはありません。

システムソフトウェアの全ファイルは圧縮されており、インストーラプログラムがファイルを復元します。ファイルをドラッグしてハードディスクにコピーしないでください。

3 インストーラの初期画面が表示されたら、"続ける"をクリックします。

簡易インストールダイアログが表示されます（下の画面はQuickDraw GXの場合）。

4 **ポップアップメニューから“カスタムインストール”を選びます。**

カスタムインストールダイアログが表示されます（下の画面はQuickDraw GXの場合）。

5 **インストールするソフトウェアを選びます。**

インストールするソフトウェアのチェックボックスをクリックして、“×”を付けます。QuickDraw GXユーティリティのチェックボックスに“×”を付けると、LaserWriterユーティリティなどの各種ユーティリティがインストールされます。

各項目に含まれるソフトウェアの詳細を確認するときは、項目名の左に表示される三角マークをクリックします。マークが下を向いて、ソフトウェアの詳細リストが表示されます。したがって、たとえば“すべてのAppleプリンタ用QuickDraw GXドライバ”という項目の左の三角マークを下に向けると、インストールするプリンタドライバを個々に指定することができます。

各項目に関する情報を表示させるときは、iマークで示される情報ボックスをクリックします。

6 **漢字Talk 7.5をインストールするハードディスクがインストール先ディスクの欄に表示されていることを確認します。**

インストール先ディスクの欄に異なるディスクが表示されている場合は、正しいディスクが表示されるまで“ドライブ”ボタンをクリックします。

7　**“インストール”をクリックします。**

ハードディスク上のシステムフォルダの更新が開始されます。

インストール中にトラブルが発生した場合：第7章「トラブルシューティング」をご覧ください。

8　**画面の表示にしたがって操作を続けます。**

画面にフロッピーディスクの交換を知らせるメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。インストールは数分で終了します。

9　**インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

コンピュータが再起動できない場合：第7章「トラブルシューティング」をご覧ください。

付録B
新規インストールの実行

重要　新規インストールは起動ディスクのシステムソフトウェアが損傷を受けた場合に限って実行してください。

本章では、一般に“新規インストール”と呼ばれる、アップル製ハードディスクへのシステムソフトウェアのインストール方法を説明します（アップル製以外のハードディスクへの再インストール方法については、ハードディスクに付属のマニュアルをご覧ください）。

1. **コンピュータの電源を切ります。**
2. **フロッピーディスクドライブに「ディスクツール」ディスクを挿入します。**

   ネットワークからインストールする場合：ファイルサーバからディスクツールを探します。見つけたら手順4へ進んでください。見つからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
3. **コンピュータの電源を入れます。**

   画面にディスクツールのウインドウが開きます。
4. **Disk First Aid アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがって操作を続けます。**

   Disk First Aid によって、ハードディスクに問題がないかどうかチェックされます。

5 操作が終了したら、ファイルメニューから“終了”を選びます。

IDE仕様の内蔵ハードディスクにインストールする場合は、手順9へお進みください。

6 Apple HD SC Setupアイコンをダブルクリックします。

Apple HD SC Setupを使うと、ハードディスクの初期化（消去とフォーマット）や、ディスクドライバの更新ができます。

7 “更新”をクリックします。

8 操作が終了したら、“終了”をクリックします。

9 コンピュータの電源を切ります。

10 フロッピーディスクドライブに「インストール1」ディスクを挿入し、コンピュータを起動します。

フロッピーディスクからインストールする場合：ここで手順12へお進みください。

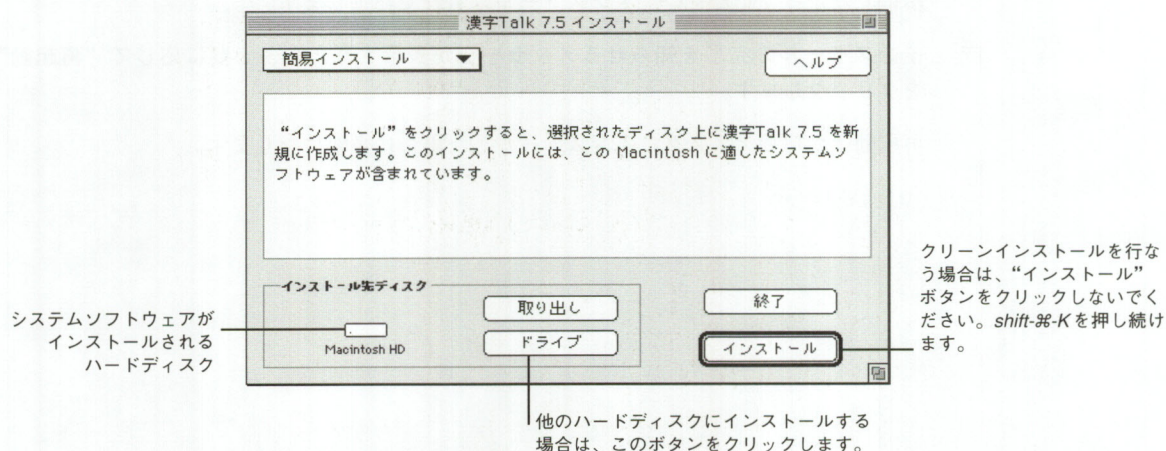
CDからインストールする場合：「ディスクツール」をドライブにセットしコンピュータを起動します。

ネットワークからインストールする場合：ファイルサーバからインストーラを探します。見つからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

漢字Talk 7.5の全ファイルは圧縮されており、インストーラプログラムがファイルを復元します。ファイルをドラッグしてハードディスクにコピーしないでください。

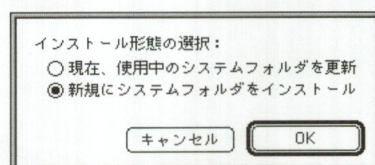
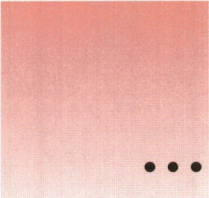
11 “漢字Talk 7.5 CDインストールをダブルクリックして開きます。

12 インストーラの初期画面が表示されたら、“続ける”をクリックします。

簡易インストールダイアログが表示されます。

13 漢字 Talk 7.5 をインストールするハードディスクがインストール先ディスクの欄に表示されていることを確認します。

インストール先ディスクの欄に異なるディスクが表示されている場合は、正しいディスクが表示されるまで“ドライブ”ボタンをクリックします。

14 *shift-⌘-K*を押し続けて、新規インストールを開始します。

次のダイアログが表示されます。

15 “新規にシステムフォルダをインストール”のボタンをクリックし、次いで“OK”をクリックします。

ダイアログが閉じます。簡易インストールダイアログの“インストール”ボタンの表示が“新規インストール”に変わります。

16　画面の表示にしたがって操作を続けます。

画面にフロッピーディスクの交換を知らせるメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。インストールは数分で終了します。

17　インストールの完了を知らせるメッセージが表示されたら、必要に応じて"再起動"をクリックします。

再起動は、起動ディスクにインストールした場合に必要になります。

付録C
互換性のチェック

漢字Talk 7.5のインストール後、Macintoshが起動しなくなったり動作が不安定になったりした場合、互換性のない起動プログラム（機能拡張またはコントロールパネル）がシステムフォルダに存在していることが考えられます。

本章では、漢字Talk 7.5と互換性のない起動プログラムの除去方法について説明します。

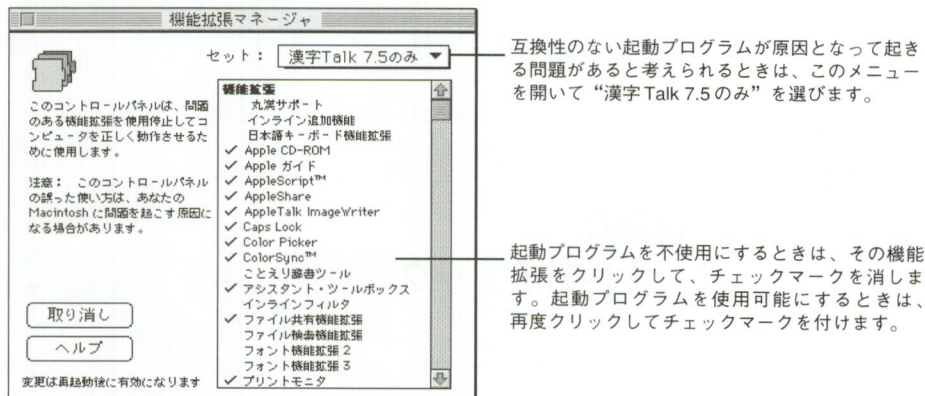
互換性のない起動プログラムの除去

起動プログラムの互換性に起因する問題があるかどうか調べ、各プログラムをチェックするときは、次の手順で操作します。

互換性の問題があるかどうか調べる

1 **コンピュータの電源を入れて、スペースバーを押し続けます。**

スペースバーを押し続けると、“機能拡張マネージャ” コントロールパネルが開きます。

2 “機能拡張マネージャ”コントロールパネルが開いたら、スペースバーを放します。

3 ポップアップメニューから“漢字Talk 7.5のみ”を選びます。

本来インストールされていた漢字Talk 7.5に含まれていない起動プログラムがすべて使用されなくなります。

4 機能拡張マネージャを閉じて、起動を再開します。

5 コンピュータが操作できる状態になったら、問題が発生したときと同じ操作を行ないます。

問題が発生しない場合、その原因は漢字Talk 7.5では動作しない機能拡張またはコントロールパネルが存在しているためだと考えられます。その場合は引き続き次の節の操作を行ないます。

機能拡張およびコントロールパネルを個別にテストする

1 コンピュータの電源を入れて、スペースバーを押し続けます。

スペースバーを押し続けると、“機能拡張マネージャ”コントロールパネルが開きます。

2 “機能拡張マネージャ”コントロールパネルが開いたら、スペースバーを放します。

3 テストする機能拡張またはコントロールパネルを1つ選び、その名前をクリックしてチェックマークを付け、使用される設定にします。

4 機能拡張マネージャを閉じて、起動を再開します。

5 コンピュータが操作できる状態になったら、問題が発生したときと同じ操作を行ないます。

問題が発生しない場合、使えるようにした起動プログラムは漢字Talk 7.5と互換性があると考えられます。

問題が再度発生する場合、その起動プログラムは漢字Talk 7.5と互換性がないと考えられます。機能拡張マネージャを開いて、その起動プログラム名をクリックし、チェックマークを消してください。

6 テストしたい起動プログラムごとに手順1から5までの手順を繰り返します。

探したい項目が索引にないときは、(?)
アイコンが表示されているガイドメニュー
の "Macintosh ガイド" から見つける
こともできます。

索引

アルファベット順

A

C

D

E

F

I

五十音順

あ - ア

い - イ

う - ウ

え - エ

く - ク

け - ケ

こ - コ

さ - サ

し - シ

す - ス

せ - セ

そ - ソ

た - タ

て - テ

と - ト

ね - ネ

の - ノ

は - ハ

ひ - ヒ

ふ - フ

へ - ヘ

ほ - ホ

ま - マ

め - メ

ゆ - ユ

よ - ヨ

ら - ラ

り - リ

アップルパブリッシングシステム

このマニュアルの編集および構成は、Apple Macintosh コンピュータおよび QuarkXPress 日本語版を用いたデスクトップパブリッシング（DTP）システムで行ないました。校正用原稿は、Apple LaserWriter II NTX-J プリンタおよび QMS ColorScript 100 カラープリンタで作成し、最終的なページイメージは Linotronic 300J イメージセッタでフィルム上に直接出力しました。線画部分の作成には Adobe Illustrator を用い、スクリーンショットの作成および加工はシステムソフトウェア、Exposure Pro および MacPaint を用いました。

テキスト部分は細明朝体および中ゴシック体を使用しています。欧文書体は、一部 Apple Garamond を使用しています。飾り文字は AppleIconThree を使用し、アップル社のためにデザインされたシンボルを使っています。

LaserWriter 用のページ記述言語、PostScript は Adobe Systems Incorporated によって開発されたものです。